

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案外十二件特別委員會議事速記録第二號

大正九年七月二十三日(金曜日)午後一時二十三分
開會

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、
今日、各案ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○仁尾惟茂君 ソレデハ順序ハ大體二巨リマスコトデアリ
マス、國債ノコトデ、此整理基金ト、ソレカラ道路法案ニ
付テ御質問ヲ願ヒマス、此整理基金ト、ソレカラ道路法案ニ

○委員長(荒井賢太郎君) 仁尾サンノ御質問ハ國債整
理資金ノ繰入レノコトデアリマス、道路法案デアリマス

○仁尾惟茂君 サウデゴザイマス
○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ他ノ御質問ハゴザイ
マセウガ、案ノ順序ニ依テ御質問ヲ願ヒ積リデアリマス、
仁尾サンノ御質問ハ兩點ニ互テ御質問シマスルコトニ致シマ
ス

○仁尾惟茂君 國債整理基金繰入レノコトニ付キマシテ御
尋ね致シタイト思ヒマス、國債償還資金ノコトハ近來主モ
ニ外債ノコトノミニ政府ノ意圖ハ注ガレテ居ルヤウデアリマ
ス、又御説明ニナル所、御答辯ニナル所モ、同様ノコトデアリ
マス、内債ト云フコトニ付キマシテハ、一向殆ど忘レタルモノ、
如クニシテ、始終御意圖ノアル所ハ承ハテ居リマス、今日
ハドウデアリカト云ヒマス、内債償還ノ急ヲ告ゲマシテ、財
界ニ於キマシテモ金融ノ梗塞ヲ滑ラカニシマスガ爲ニ、内國
債償還ノ議ガ追々出テ來テ居ルヤウデアリマス、既往ノ基
金ノ沿革ニ考ヘマスノニ或ル時代ニハ五千萬ノ中四千萬
圓ノ内國債ノ償還ニ充テ一千万圓ハ外債ノ償還ニ充テ、
斯様ナ時代モアルデアリマス、是ハ皆内外ノ關係ガアッテ
ソコニ至ラノデ、殊ニ日露戰役ノ後ニ當リマシテ、公債ハ
多額ノ發行ニナッテ居リマシテ、隨テ價格ハ下落シ、經濟界
ハ悲況ニ陥リ、茲ニ至ラノデ大ニ基金ノ働キヲ爲シテ償還ヲ努
メ、爲ニ大ニ經濟界ヲ緩和致シマシタ、然リマスルニ現時並
ニ從來ノ我國債ノ狀況ハ如何デアリカト申シマス、申上
グルマデモアリマセヌ、既發ハ公債ガ二十七億九千三百万
ト云フコトデアリ、又今後大正十四年頃マデニ公債ノ新規
發行並ニ借換等ノ分ヲ見マスレバ丁度合計デ二十二億餘
トナルノデアリマス、ソレデ既發未發ノ雙方ヲ合シマシテ殆
ド五十億ノ巨額ニ當リマスヤウニナッテ居リマス、此巨額ノ
既發未發ノ公債ハドウ云フ影響ヲ現時及ビ將來ニ與ヘル
デアリカト考ヘマス、目下公債ノ募集ハ如何デアリカ、殆
ド長期ノ公債ト云フモノハ募リ得ズシテ短期ノミデアリ、而

カモドウデアリカト云ヘバ過日大臣ノ御説明ニナリマシタヤ
ウニ、割引ノ外ハ殆ど見込ミハナシト斯ウ云フ洵ニ行詰ッ
コトニナッテ居ル、又唯今申上ゲマシタ今後募集シマス所ノ
二十億ノ中殆ド十億餘ノモノガ借換ニ屬スルモノガアル
ガ、此借換ト云フモノハドウデアリカト云ヒマス、新シク
募集スルモノナレバ應募者ガナケレバ事業ヲ繰延ベテ行ク
ト云フ途モアリマス、此借換ハ是非トモ借換ヲシマスル
カ、若クハ現金ヲ以テ拂フカ、是ハ退引ナラヌモノデアリ、茲
ニ至ラテ更ニ借換ガ出來ナイ、現金ヲ以テ拂ハナケレバナ
ナイト云フコトニ付テ來マシタ所デ、何ヲ以テ之ニ應ズルカ
ニ遺線リヲスル手段モゴザイマセウガ、免二角之ニ對スル所
ニ備ガナケレバナリマス、マイト考ヘマス、是等ノ巨額ナル公
債並ニ借換ニ對シテノ策ハドウシタラ宜イカ、何カ外ニ仕
方ガナイ、償還スルヨリ外ニ仕方ガナイ、償還スルニハドウ
シテモ基金ト云フモノガナクテハ他ニ途ハ取レヌ、マイト
思ヒマス、斯ノ如キ場合ニ當テ、此基金ト云フモノヲ他ヘ
使用スルト云フコトハ公債ノ國債政策上如何デアリマセ
ウカ、大ニ考慮セナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、
レデ基金ガ國防財源ニ充ツル、國防財源ハ恒久ノモノデナ
ケレバナラヌ、矢張是ハ其通りノコトデアリマシタ、然レドモ
國債モ同様デアリカト云ヘバ、是亦產業ノ發達其他必要ノ
財源ニ供スルモノデアリマス、將來健全ニ運行シテ居ル
ヤウニ之ヲシナケレバナリマス、マイト考ヘマス、付キマシテハ
私ノ御尋ね致シタイト云フ所ノ點ハ、國防モ必要デアリガ、
又減債基金モ必要デアリ、之ヲ兩立セシメル所ノ途ハナ
カ、此減債基金モ斯ノ如ク、他ヘ利用シテ宜イカト云フ
コトニナリマシタ、ハ、是ハ近來一時好景氣ニ連レマシテ、
ツイ、茲ニ至ラノデ、今日並ニ將來ノ此經濟界ノ悲
況ナドヲ深ク考ヘズニ致シタコトデアリカト考ヘマス、ソレ
デ私ハ此兩立ノ途ト云フモノハドウシタラ宜イカ、詰リ一箇
年三千万圓ノ問題デアリマス、十二年マデ四箇年、其一億
二千万圓金ガアルサウデ、例ヘバ之ダケノモノガ歲入ガ大藏
大臣ニ出來マズレバ、是ハ私ハ兩立ガ出來ヤウト考ヘマス、然
リマスルニ、此一億二千万圓ノ財源ノ豫定ハ過日官報ガ發
セラレタ所ノ現計畫ニ依リマス、財源トシテ八年ノ自然
增收ガ三億七千万圓デアリマシタガ、免二角四億内外ノ
金ト云フモノガ確カニ增收ニナルト云フコトハ御氣ガ付イ
ト思ヒマスデアリマス、此四億内外ノ金ノ中ヨリ一億
二千万圓程ヲ採取リマシテ之ニ所謂先取權ヲ今日ヨリ與

ヘル、デ私ハ國防ハ財源ヲ要スルコトデアリマス、減債基
金ハ此案ノ御説明ノ如ク宜シウゴザイマス、其代リ二八
年度果シテ斯ノ如キ巨額ノ增收ガアタナラバ第一ニ減債
基金トシテ一億二千万圓ヲ先取シテ仕舞フ、斯ウ云フコト
ヲ一ツ御豫定ニナリマシテ、ソレデ双方ノ目的ヲ達スルコト
ヲ致スコトガ出來マセウカ、色モ考ヘマス、二ドウシテモ此財
界ノ有様ハ斯ノ如ク多額ノ公債ヲ發シマシテモ斯ノ如キ有
様デハ必ズシモ大ナル面倒ナコトガ來シハマセヌト考ヘマ
ス、デ別ニ喋々ハ要シマセヌガ、減債基金ハ當大臣ニ於カレ
マシテハ深イ御考モアッテ、國難ニ當テ外債ヲ募ル際ニ、其
衝ニ當ラレマシテ、又歸朝ニナルヤ我國ノ信用上ニ付テ御
内議ニモ與ラコトモ私拜知致シテ居リマス、ドウカ此減債
基金、タケハ傷ヲ付ケズ、經濟界ノ厄難ニ當テ之ヲ救済ス
ルノ用ニ充テタイト思ヒマス、一應此事ヲ申上ゲテ御考
ヲ承ハリタイト考ヘマス

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今仁尾サンヨリ縷々
御意見ガアリマシタガ、一應將來ノ財政殊ニ公債ニ關スル
御心配ニナルコトハ誠ニ御尤モノコト、考ヘマス、要スルニ
此際減債基金ヲ他ニ用ヒズシテ、矢張減債基金ハ減債基
金ヲ以テ、御説明ノ如ク國債ヲ減ラシテ二億二千万圓
ウシタラバ、減債基金繰入金ヲ利用スルニ一億二千万圓
ハ剩餘金ガアルカラシテ、剩餘金ヲ以テ利用スルナラバ、左程
困難ハナカラ、一應御尤モノ御考デアリマス、御承知
ノ通り此減債基金ヲ設ケラレタ第一ノ目的ハ日露戰爭ノ
外國ニ募集シタ、而モ其償還期限ノ到來スルモノノ中ニ、彼
ノ四分半利付ト唱ヘル三億圓ヲ二度募集シマシタ、此六
億圓ノ公債ガ大正十四年中ニ償還期限ガ到來スル、此六
億圓ヲフルノニハ六億ノ公債ヲソレマデ捨テ置イテ期限
ガ來タ時分ニ無論全部償還スルコトハ相當ノ用意ガナ
レバ出來ナイコトデアリ、又用意ナクシテ進ム以上ハ借換ガ
目的ニナルガ、將來海外市場ノ有様ハ如何ニナルカ分ラヌ、
殊ニ六億ト云フ巨額ノ公債ヲ借換ヘルニハドウ云フ手段ヲ
執ルカ、非常ニ有利ナル條件ヲ付ケナケレバ借換ヘルコトハ
出來ヌ、現在四分半利付公債ヲ擔保トシテ、而モ此今日デ
ハ謂ハバ名ノミ擔保デアリ、支那ノ鹽田デアリトカ、或ハ海
關稅ガ擔保ニナッテ居ルガ如ク彼ガ人ヲ出シテ之ヲ擔保
云フヤウナ具體的ノ擔保ニアラズシテ、名ノミ擔保デアリ、
ソレデ濟シテ居ルモノガ、大正十四年ニ至ラテ一時ニ之ヲ借

換ヘムト欲スレバ條件モ或ハ非常ニ不利益ノモノニナルダ
ラウシ、不利益ノ償還……名ノミノ擔保……名ノミノ擔保
ハ濟マナクナルカモ知レヌ、茲ニ漸ク追テ此六億ノ公債ト
云フモノヲ、今日ク用意シナケレバナラヌト云フコトガ減
債基金ノ設クル主ナル原因アル、ソレ以來減債基金ノ高
ハ段々變ハリマシタケレドモ、何レモ其目的ニ向テ使用セ
レテ來タノアル、所謂借入償還ト云フコトヲ倫敦ニ於テ
始終行テ來ツアル、今日ニ至テモ尙其通りアル、而シ
テ今日モ減債基金ノ償還金ヲ抵當ニシテ往ケバ大正十四
年ニ至テ尙一億四千萬ハ殘ル勘定アル、少クトモ一
億四五千萬ハ借換ヘナケレバナラヌト云フ結果ヲ見ルト云
フコトハ從來カラ矢張當局者ガ心ヲ痛メテ居タ次第デア
リマス、然ルニ此歐羅巴ノ戰爭ノ影響トシテ、幸ニモ海外カ
ラ正貨ヲ取寄セルト云フ位置ニ立タ爲ニ、政府ハ預金部
ハ無論、又國庫剩餘金等有ユル手段ヲ盡シ、又或場合ニ
於テハ國庫證券ヲ出シテモ内地其金ヲ募テ在外正貨ト
シテ取入レ勘定ニナル正貨ヲ持ツト云フ方針ヲ採リナ
リマス、茲ニ於テ豫金部心配シテ居タルコロハ大正十四
年ニ至テ四分半利付ノ六億ノ償還スルト云フコトハ今日殆
ドサウ心配ガナクナタト云フコトニナル、ソレハ度々申上
ル通り、既ニ預金部ニ於テ今日在外正貨ヲ保有シテ居
ル高ガ三億九千萬アル、是迄ノ減債基金ハ段々借入ヲシ
テ償還シタ、尙ホ今日モ其八年度ノ豫算ニ於テ取ツテア
ルトコロノ三千万圓ノ減債基金ト云フモノト其他從來ノ
金トヲ合セテマダ殘ラズ借入ハ濟マナイカラ、ソレハ漸次借
入ヲ仕舞フト云フ、後三億六千万圓バカリ四分半利付ノ
公債ガ殘ル、ソコヘ持テ來テ預金部ガ三億八千万圓在
外正貨ヲ所有スルト云フ餘力ヲ生ジテ居ル、此際減債基
金ヲ用ヒズトモ、第一番ノ心配シテ居タル四分半利付ノ六
億ノ公債ヲ十四年ノ償還期限ニ至レバ借換ヲ一モ要セズ
シテ全部海外ニ於テ其支拂ガ出來ル、之ニ代テ預金部ガ
海外ニ正貨ヲ有テ居ル、其金ヲ以テ之ヲ政府ガ内國債
ノ……長期ノ内國債ヲ預金部ガ引受ケレバ事公容易ニ運
ブノアル、斯様ノ狀態ニナリマシタカラシテ、此度國防充實
ノ爲ニ財源ヲ要スルニ當テ、此減債基金ヲ四箇年間繰入
ヲ中止スレバ増稅ノ程度モ今日ノ提案シタル程度デ積ム
若シ之ヲ繰入ルトスレバ増稅ヲ一層強キ程度ニ於テ行ハナ
ケレバナラヌ、豫テ此減債基金ナルモノハ償還ノ爲ニ用ヒル
必要ガナイ場合ヲ是ハ決シテ他ニ用フベカラザルモノデア
リ、宜シク減債基金ノ出來タ當初ノ必要ニ顧ミテ、或ハ今
日ノ負擔ヲソレダケ減ズルト云フ方ニ用フベキモノデア
ル、特別非常稅カラコレハ成立テ居ルモノデア
ル、或ハ特ニ増稅
デモシナケレバナラヌト云フ場合ニ於テハ、此減債基金ヲ其

儘ソレニ振向ケテ……増稅ノ代リニ用フル、此外ニ減債基
金ヲ用フル相當ノ理由ハナイノデア
ル、詰リ廢減稅ノ財源
トシテ用ヒルカ、或ハ新ニ増稅ヲシナケレバナラヌ場合ニ於テ、
此増稅ヲ避クル爲ニ是ヲ用ヒル、此二ツノ外ニ減債基金ハ
動カス理由ガナイノデア
ル、斯ウ云フ方針デア
リマス、ソコデ
其度、國防充實ノ恆久財源ヲ得ルニ當テ、四箇年間一時
減債基金ヲ之ニ流用スレバ増稅ノ程度ニ付テ提案シタル
コロノ程度デ止メテ宜シイ、若シソレヲ用ヒザレバ増稅ノ程
度ヲ高メナケレバナラヌ、他ニ一方ニ於テ、減債基金ヲ設
ラレタ大ナル目的ハ十分ニ達スルダケノ用意ガ茲ニ出來
カッタト云フ以上、増稅ニ代フルニ此減債基金ノ繰入ヲ中止
シテ……四箇年間之ヲ中止スルト云フコトハ妥當アル、斯
ウ云フ考ヘカラシテ今日ノ計畫ヲ立ツ次第デア
リマス、又
民間ニ於テ……今日ノ經濟狀況ニ於テ長期公債ノ償還ヲ
希望スルト云フヤウ御話シモアリマシタガ、ソレハ必シモナ
イトハ言ハヌ、或ハ非常ニ既發公債ノ市價ガ下グル、即チ其市
價ヲ維持フル爲ニ公債ヲ償却スルト云フヤウナコトガアリ
マスレバ、是亦今日ノ財界ノ狀況ニ於テハ一考セネバナ
ラヌ事柄デア
ル、併ナガラ一般ノ金融界ノ狀態カラ觀察シマ
スト、今日ハ長期公債ノ償還スル……必ズセネバナラヌト
云フコトノ必要ヲ認メナイ、ソレヨリハ新ニ發行スル所ノ公
債ノ期限、利率等ノ條件ニ於テ、財界ヲ壓迫シナイヤウナ手
段ヲ執ツカ方ガ寧ロ宜イ、二千万圓、三千万圓ノ公債ヲ
利引キデ償還シタ所ガ、其結果ハ、資本ノ要ラナイ所ニ償
還資金ガ入ルカモ知レヌ、資本ノ要レ所ニ這入ラナイカモ
知レヌ、且又普テ御心配ノ通貨ノ膨脹ト云フモノハ……要レ
所ニ這入レバ結構デア
ルガ、現金ノ要ラナイ所ニ這入ルハ、
却テ通貨ノ膨脹スルコトニナル、一般ノ公債ヲ償還スル
ヤウナ窮境ニハ、財界ハマダナッテ居ラヌト、私ハ考察シテ居
ル、殊ニ近頃ハ公債ノ市價モ、彼ノ有價證券カラ見レバ、誠
ニ堅實ニナッテ居
テ、他ノ有價證券ノ如ク暴落シタト云フ
事實ハナイノデ、一時少シ下ツタケレドモ、今日ハ又進ンデ
居ル、畢竟公債償還ヲ必要トスル場合ニナレバ、新ニ尙ホ
公債ヲ發行スルコトガイカヌト云フ議論ガ起ツテ居ル、素ヨ
リ償還スル公債ハ全部ト見タ所ガ三千万圓ニ止テ居ル、
政府ノ募ラムトスル所ハ二億圓足ラヌ……事業公債ニ考
ヘマシテモ、ソレダケデ……其外ニマダ募リ得ルナラバ、軍事
公債ヲ募リ、公債ノ發行ヲ根絶スレバ免ニ角、一方ニ於テ
公債ノ發行ヲスル場合ニ於テ、今日必ズシモ既發公債ヲ
償還セネバナラヌト云フ事情ハ認メテ居ラヌノデア
リマス、ソ
レハ返スニ優ツタコトハアリマセヌ、唯今申ス通りニ、一方ニ
於テ市場デ新ニ募ラヌダレバナラヌト云フ狀況ニナッテ居
ヌ、サウ云フ財政ノ狀態ニナッテ居ル、ソレヨリハ寧ロ一方ニ

於テ外債償還ノ途ガ立ツタ以上ハ、市場ノ暴騰ナカラシム
ル爲ニ、四箇年間減債基金ノ繰入ヲ中止スルガ宜イ、又八
年度剩餘金ヲ以テ埋メタラ宜イデヤナイカト云フ御説ガア
リマシタケレドモ、是ハ從來ノ豫算編成上ニ於テ大變革ヲ
起ス、八年度ニ剩餘金ガアルモノハ、十年度ノ豫算ヲ編成
スルニ當テ始メテ、是ハ處分スルコトニナル、素ヨリ豫算以
外ニ臨時ニ這入シタモノハ……八年度度分ニ或ハ外債ヲ賣拂
タ代金ナドハ豫算ニハ這入ッテハ居ラヌ、全ク臨時ノモノデ
アリマス、本年度ノ豫算ノ不足シテ居ル爲ニ、八年度ニ收
入スルモノヲ取入レテ使フ次第デア
リマセヌ、一億二千万
圓ト云フ多額ノ八年度ノ剩餘金ヲ九年度ノ豫算ヲ編入ス
ルト云フコトハ、豫算編成ノ方針ヲ一變シナケレバナラヌ、是
モ或ハ其方ガ宜イカモ知レヌガ、篤ト考ヘナケレバナラヌ、豫
算編成ノ時マデハ實現ヲセヌカラ、前年度ノ剩餘金ト云フ
モノハ這入ッテ來ナイ、八月一杯ノ豫算ノ概算編成ハ六月
七月ニ於テ各省共ニ拵ヘテ出サヌケレバナラヌ、ソレカラ大
藏省ニ於テ之ニ對シテ査定スルニ當テモ、前年ノ剩餘金
ト云フモノヲ確實ニ定メテ譯ニ往カヌ、是マデ九年度ノ豫
算ヲ編成スルニ當テハ、七年度ノ豫算ヲ考慮シテ、八年度
ノ剩餘金ハ九年度以降ニ用ヘルコトニナッテ居リマス、且又
八年度ノ計算ニ於テ此自然增收ハ二億二千四百萬圓ガ
茲ニアリマス、此二億二千四百萬圓ノ中カラ一億二千万
圓ヲ取レバ、減債基金ノ繰入ノ必要ハナイデヤナイカト云
ハレマスガ、第一ニ豫算編成ノ方針ヲ一變スルコトニナリマ
スシ、今日ハ是アル故ニ減債基金ノ繰入ヲ延バスト云フコト
ニハ御同意ハ出來ヌノデア
リマス、又減債基金ノ繰入ヲ延バ
スト云フコトモ、若シ一方ニ於テ十四年ノ外債償還ノ目的ガ
立タナイト云フコトデア
ルハ、是ハ餘ホド重大問題トシテ財
務當局トシテ考ヘナケレバナラヌ、如何ニ國防ノ爲ニ財源
ガ必要ナリト雖モ、十四年モ償還ノ工夫、元利償還ノ見込
ガ立タヌ場合ニ於テハ、是ハ決シテ繰入ノ中止ハ出來ヌノ
デア
ルガ、幸ニシテ一方ニ於テモ其目的ヲ達成スル用意ガ
出來テアリマスルガ故ニ、更ニ募集スル代リニ、四箇年繰入
ヲ中止シタ譯デア
リマス、其邊ニ御テ承テ願ヒタイ

○仁尾惟茂君 ドコマデモ外債ノミノコトニ減債基金ハ
御充テニナルノデスカ、内國債券ノ方ニ對シテハ、一向御顧
ミニナラヌト云フコトガ、御答辯ノ趣意カト云フコトニ歸著
シマスヤウデア
リマスガ、若シ内債ノ借替ニ差迫ツタ時ハ、何
ヲ以テオヤリニナル御考ヘデア
リマスガ、第一ニソレヲ御尋シ
タイ

○國務大臣(男爵高橋是清君) 尙ホ御覺エデゴザイマセ
ウガ、日露戰爭ノ後ニ、戰爭中愛國公債ナリ、商工業者ニ
ハ其必要ナル資本ヲ割イテ、一時國ノ急ニ應ジテ國庫證券

ノ募集ニ應ジタノデアリマス、戰爭ガ濟シタ後ニハ恢復ノ圖
ラネバナラス、經濟界ノ恢復ヲ圖ラヌケレバナラスノニ、其資
本ナルモノハ、軍事公債ニ應ジテ如何トモスルコトガ出來ナ
イト云フノデ、時ノ政府ハ私ガ丁度其時政府ノ命ヲ受ケテ
外債募集ニ付テアラニ居ル時ニ二億五千萬圓ノ外債ヲ
起スヤウニ、而シテ其目的ハ内國債ヲ償還スルノデアルト云
フノデ、巴里ニ於テ四分利附公債ヲ發行シテ二億五千萬
圓バカリ募集シタ、アノ時ハ確カバ里、倫敦、獨逸モ幾分か
アリマシタ、サウ云フ所デ募集ヲシテ、其金ヲ以テ内地ノ事
業資金ノ缺乏ヲ補フ爲ニ内國債ヲ償還シタト云フ實例モ
アルノデアリマス、ソレデ内國債ノコトヲ忘レテ居ル氣遣ヒハ
ナイノデアリマス、併ナガラ義務ヲ果ス上ニ於テ、先ヅ外國ノ
借財ト云フモノニ第一重キヲ置カケレバナラス、内國債ヲ
償還スルコト云フコトニ付テハ、是マデノ狀況ニ於テ又今日ノ
狀態ニ於テ必要ハナイ、ソレ程ニ經濟界ガ資金ニ窮迫ヲ告
ゲテ居ルト云フコトハナイ、外國カラ金ヲ借りテマデ返ヘサナ
ケレバナラスト云フ、日露戰爭後ノ狀況ノ如キハ今日ハナイ、
相當ニ民間ニ於テハ新規ノ事業モ起シ、或ハ擴張ヲモナシ、
實ハ少シ新規ノ事業ヲ起シ、擴張ヲシタ、ノハ度ヲ越エテシ
過ギタト云フ位ニ今日ハ豐富ニ國民ハ産業上金ヲ使フ居
ルノデアリマス、サウ云フ狀況デアリマスカラシテ、内國債ノ
償還ト云フコトハ今日忘レテハ居ラヌケレドモ、焦眉ノ急ト
ハ考ヘナイ、唯先刻御話ノ期限ガ來タ時分ニ借換ガ利ガナ
カッタラ、ドウスル、應募者ガナカッタラ、ドウスル、若シ此借換
ガ不結果ニ終ララ、ドウスルカト云フコトハ豫メ計畫ヲ立テ
、置カナケレバナラス、例ヘバ此九月二期限ガ來ル一億ノ證
券、之ヲ公募スル、公募シタ場合ニ此應シ手ガナカッタラ、ド
ウスル、ナカッタラ行詰テ、拂フコトガ出來ナイガ、ソレハ全部
拂ヘナクテモ、是ハ行詰タラ行詰タラ、拂ヘルヤウナ計畫ヲ
立テ、居ル、故ニ今後長キ年月ニ互テ度ニ借換モ來レバ、
新規ノ發行モ起テ來ル、其時ノ總テノ計畫ガ立テ居ルカ
ト云フコトハ、是ハ今日何人ト雖モ當局者トシテ申上グル譯
ニハ行クマイ、其時ニ於テハ其時ノ計畫ヲ立テ、行キ詰ラ
ヌヤウニシテ行クノデアリマス、又ソレダケノ覺悟ガナケレバ、
借換ノ發行ニシテ新規ノ發行ニシテ出來ルモノデナイ、ソレ
ガ目的ノ通り行カクテモ、差支ナイダケノ他ニ計畫ヲ立テ、
參ルノデアリマス、先ヅ期限ガ來テ償還スルモノハ償還スル、
借換ヘルモノハ借換ノ爲ニ發行スル、假令一般ノ應募ガソ
レダケナクテモ政府ニ於テモ其用ヲ足スダケノ計畫ハ立テ
居ルモノト御安心下ス、テ宜シノデアリマス

○仁尾惟茂君 此上ハ議論ニナリマスカラ、差控ヘマス
ガ、ドウモ此借換ノ出來ナイ時ニ至テ初テ策ヲ施ス、隨
分是ハ危險ナ話デアラウト思ヒマス、條々公債償還ノ期
限ト云フモノハ前ニ分リテ居ルモノデアリマスカラ、必ズシモ
之ニ備ヘラレヌモノデハナイ、其時マデ何モ備ヘガナイト云フ
コトハ餘ホド是ハ危險ナコトデナイカト思ヒマスガ、一體此
減債基金ト云フモノハ、直接償還スルガ目的デアルカ、私ナ
ドハ債權者ガ安心ヲシテ此減債基金アルガ爲ニ償還ヲ望
マナクナル、サウ云フコトニ效力ノアルモノデアルト思フノデ、
唯三千万圓ナラ三千万圓ノ金ガアルカラ、是ダケ償還スル
ト云フノデアリ、三千万圓以上、效力アルベキモノデアルト
レデ減債基金ノアルト、無イトハ非常ニ信用ニ關係シマスル、
又借換等ノ時ニハ是ガアレバ、借換ルベキモノデ其儘ニ借
換ヘルコトガ出來ル、若シ減債基金等ガナクシテ信用ガナケ
レバ、償還ヲ求メルト云フコトニナルノハ、是ハ人氣ノ然ルベ
キ所デアル、サウ云フ所ニマデ效用ガアル、今日ノ如ク益、債
務ハ殖エテ來、償還モ殖エテ來ルト云フ時ニ當テ、之ヲ他ニ
流用シテ、其基礎ヲ動搖セシムルト云フコトハ、如何ニモド
ウモ得策デナイト考ヘマスカラ、御尋フスルノデアリマスガ、モ
ウ今ノ御答ヲ受ケマシタカラ此上ハ強イテ議論ニ互リマス
カラ、御答ハ要シマセヌ

○國務大臣(男爵高橋是清君) ドウカ誤解等ハナイヤウ
ニ願ヒタイ、減債基金デアリ外國債ヲ還スト云フコトハ宜イコト
ダ、出來レバ、併ナガラ今ノ御話ノ如ク減債基金デアリ還セ
バ、信用ガアルトカナイトカ云フコトハ、日本ノ今日ノ時代ニ
付テハ問題外デアラウト思フ、決シテ今日外國債ヲ有テ居
ル者デ政府ノ信用ガ氣遣フ者ハナイ、唯還セバ樂ミガ餘計
アル、併ナガラ從來政府ガ屢、試ミタ抽籤デ還ストカ何トカ
云フコトハソレハ幾ラカ市況ヲ釣上グルト云フコトニハ效用
ガアラウ、併シ是ガアル爲ニ新規ノ公債ノ發行ガシ易クナル
ト云フコトハ是デデナイ、度ミソレハ試ミタコトデアリマス
ガ、

○小山健三君 幸ヒ大藏大臣ガ御出席デアリマスカラ一
應承デ置キタイト思ヒマス、先刻仁尾君サンノ質問ニ對シテ
將來ノ公債ノコトニ付テ御話ガゴザイマシタ、大ニ了解イタ
シマシタ、大體此減債基金ハ非常ニ金融界ニ關係ノ多イモ
ノデアリマス、現ニ四十二年非常ニ公債ガ暴落シタ時分ニ
東京大阪ノ金融業者ガ聯合シテ政府ニ建議シテ五千万
圓ノ償還ヲ得タイト云フ建議ヲシタコトデアリマス、ソレニ
對シテ桂内閣カラ公示セラレタコトモ、宣傳セラレマシタコ
トモアリマス、非常ニ關係ヲ有テ居ル、唯當時ノ狀況ト餘
ホド變テ來テ居リマスノハ、當時ハ非常ニ國民ノ貯蓄モ少
クアリマシタ、又正貨ノ關係ガアル、在外正貨ガ段々減少シ
テ行クト云フ時期デアル、今日ハ在外正貨ガ多クシタ、又一
般ノ内地ノ國民ノ貯蓄モ非常ニ増加イタシマシタ、其當時
公債ノ内外國ニゴザイマスル高ト國民ノ貯蓄ノ比例ハ今

日カラ見ルト、餘ホド償還シタ比例ニナテ來テ居ルノデア
リマスカラ、必ズシモ此減債基金ヲ以テ年々償還ニナラナケ
レバ、金融界ハ壓迫ヲ受ケルト云フコトハナカラウト信ズル
ノデアリマス、又三千万圓ノ爲ニ非常ニ是デ公債ノ信用ガ
増ストモ考ヘラレヌ、或必要ノ時期ニ於テ御處理ニナルト
云フコトハ必シモ私共ハ反對ハナイノデアリマスガ、唯此
公債ノ價格ノ維持ト云フコトニ付キマシタハ、餘ホド政府ノ
御注意ヲ願ハナケレバナラス、例ヘバ減債基金ハ一定ノ金
額ヲ決メテ償還ヲ行クト云フコトモ必要デアリマセウガ、
或ハ剩餘金ヲ以テ斯ウ云フ一定ノ順序ヲ立テマシタ、此剩
餘金ノ生ジタル場合ニ於テ其時ノ金融社界ノ狀況ニ從
テ適當ノ金額ヲ償還セラルト云フヤウナコトモ、餘ホド有
效ノ方法デアルヤウデアリマス、ト云フヤウナコトニ付テ大藏
大臣ハ何カ御考ヘヲ御有チニナッテハ居リマセヌカ、ソレカラ
モウ一ツハ今ハ金融界ガ非常ニ大キクナッテ居リマスカラシ
テ、實ハ三千万圓位ノ償還ハ大シク影響ハナイト私ハ考ヘ
テ居リマスガ、何カ此公債ヲ優待スル方法ガ外ニアルト餘ホ
ド有益デアリナイカ、例ヘバ貯蓄銀行ノ如キ、或ハ保險會社ノ
如キ、國ガ或法律ヲ以テ積立金ヲシロ、或ハ準備金ヲ置ケ
ト命ジテ居ルモノガ隨分ゴザイマス、サウ云フモノハ從來デハ、
例ヘバ株券モ所有ガ出來ル、社債モ所有ガ出來ル、色々ノ
方法ガ大分隨意ニナッテ居リマスガ、是等ハ政府ガ必ズ此
貯蓄銀行ノ準備金トカ、或ハ生命保險會社ノ保險シタモ
ノ積立金ハ必ズ公債ニ限ル、國ノ公債ニ限ルト云フヤ
ウナ法律ナリテ相當ノ制限ヲ御立テニナル御考ヘハアリマ
スマイカ、サウ云フ優待方法ガ付クト云フコトハ、公債ノ價
格ヲ高メル上ニ非常ナカヲ有テ居ル、寧ロ二千万圓ヤ五
千万圓ノ償還ヨリモ非常ニ影響スルコトガ大キイト考ヘマ
ス、兎ニ角今後國ノ膨脹ニ從ヒマシテ、矢張公債ヲ募集
サレルトモ、現ニ今回ノ豫算ニモ大分計上サレテ居ルノデ
アリマスガ、ドウカシテ此公債ノ價格ヲ適當ニ維持シテ行ク
ト云フコトニ付テハ矢張財務當局ニ於ケレマシタ、相當御
考ヘヲ願ハナケレバナラスト思ヒマス、サウ云フヤウナ何カ御
考ヘガゴザイマシタナラバ、一應何デ置キマス、本案ニ付
キマシテ考ヲ決メマスルノニ、非常ニ有力ナル材料ニナラウ
ト思ヒマス、幸ヒ御出席デアリマスカラ伺ヒタイ

○國務大臣(男爵高橋是清君) 小山君ノ御尋ネニナッ
テ事柄ハ、丁度今朝第一分科ニ於テ公債政策、今後政府
ノ考ヘテ居リマス公債政策ト云フモノ、説明ヲ致シマシタ
中ニ總テ網羅シテ居ルヤウニ考ヘマス、私モ第一今日ノ日
本ニ於テハ安心スベキ公債ノ市價ト云フモノガ何所ニアル
カ分ラヌヤウナ狀態デアル、此今日ノ如キ時機ハ必ズ公債
ノ確實ナル、國民ノ信賴シ得ベキトコロノ市價ト云フモノガ

貴族院國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案外十二件特別委員會議事速記録第二號

日々付カケレバナラヌ、而シテ其市價ニ依テ或高マデハ買ハウトモ賣ラウトモ餘リ市價ノ變動ガ無ク自由ニ賣買ガ出來ルト云フ市場ガ甚ニ成立タケレバナラヌ、是ガ先ヅ第一ノ要件デアリマス、ソレカラ今一ツハ、即チ公債ノ需要ヲ是ハ無理ニ喚起スルデハナク、ドウシテモソレヲヤラナレバナラヌモノデアッテ、今日ハソレヲ急テ居ルト云フモノノガ多イ、貯蓄銀行保險會社、ソレカラ又諸官衙ニ於テ契約ノ保證ニ依ルトカ、ソレカラ又今後今取調中デアリマスガ、信託法ナドト云フモノノ出來マスレバ、信託ノ：或種類ニ付テ信託者ガ行使スル目的物ハ公債ニ限ルト云フヤウナコトモ決マラスデ居ル、サウ云フヤウナモノハ公債デナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ制定シナケレバナラヌ今日ハ必要ヲ感ジテ居ル、如何ニモ貯蓄銀行ト云ヒ、保險會社ト云ヒ、政府ノ取ル證券ト云ヒ、甚ダ亂雜ナルヤウナモノデ被保險者カラ考ヘテ見マスレバ、モウ少シ安心ナルヤウナモノニシタイト云フ希望ハ十分フルコトト私ハ考ヘテ居リマス、又實際貯蓄銀行ノ狀態ナドヲ見マス、益、其必要ヲ感ジテ居ル、併シ永年ノ開放漫ニ流レテ居ルモノデアリマスカラ、俄ニ之ヲ理想的ニ改メルト云フコトハ、又財界トノ關係上危險ガアリマスカラ、ソノコト當局ノ苦心ガアル、諸官廳ニ於テ取ルトコロノ身元保證デスラモ餘ホド是ハ考慮シテ參リマセヌト云フ、是迄ハ動産ノ宜シイトカ、有價證券デモ大抵ノモノヲ取テ居ル狀態ニ今日ハ進シテ來テ居ルノデ、俄カニ嚴格ノ方法ヲ立テテハ參リマセヌ、ソレニ付テハ私ハ就職以來心配シテ居ルノデアリマスガ、マダ名案モ立タナイデ實ハ居リマス、是ハ何レ大藏省ノミデ研究シマシタコロガイナデアリマス、何レ官民ノ委員デモ拊ヘマシテ、サウ云フモノデ十分ニ調査ヲシテ相當ノ法律ヲ定メル必要ガアルト私ハ考ヘテ居リマス、唯今小山君ノ御述ベニナタコトハ、今朝第一分科ニ於テ私ガ述ベタトコロト符合シテ居ルヤウデアリマス、當局ニ於キシテハ、十分ニ唯今御話ニナタ公債優待法ト云フデモ少シ語弊ガアリマスガ、私ハ最早優待法デヤナイドウシテモサウアルベキコト考ヘテ居ル、此貯蓄銀行保險會社等ニ充ツルコロノモノハ國債ニ限ルトカ、或ハ公債ニ限ルトカ、段々一ツ強制シテ行キタイ、就中此保證供託金ナドト云フモノニ付テハ、是ハ各省其通り出來ル譯デアリマス、何レ是ハ委員デモ設ケテ一ツ方法ヲ研究シテ何カ成案ヲ得タイト考ヘテ居リマス

○小山健三君 剩餘金デ……

○國務大臣(男爵高橋是清君) ハ、此剩餘金ヲ以テ此償還ニ充テルト云フコトハ、是ハ誠ニ御尤モノ御考ヘデ、英吉利邊リデモ歲入ノ剩リタモノヲ以テ、サウシテ公債償還ニ充テルト云フコトニナテ居リマス、或時ハ又減債基金ノ大

抵決マツタモノハドウシテモ、是ハ政費ノ段々膨脹スル時代ニ於テハ、剩餘金ヲ以テ充テル、不足ハ公債ヲ募集シテ補フト云フコトガ多イデアリマスガ、國民ガ其方法ニ付テ安心ヲシナイモノデス、ソウシテ今日デハ尙ホ更減債基金ノ額ヲ決メテ償還シテ行カケレバナラヌ、斯ウ公債ガ多クナタ場合ハ、其モノノ公債ノ償還ニ充テルト云フコトハ道理ニ於テモ、法理ニ於テモ、至極妙デアリマセヌカラ、實際ドウ云フモノデアリマセウカ、寧ろ減債基金ト云フモノデ一定ノ額ヲ、一般會計カラ繰入レルト云フ方法ガ確實ニ私ハ行レルト思フ、中ニ剩餘金ガアルト云フ、今正ニ各省共ニ經費ノ膨脹スルコトヲ金テラデアリマセヌガ、仕事ヲ進メル上ニ勢ヒ經費ノ膨脹ヲ來スト云フヤウナコトデ、ソレデ大藏省トシテ査定シテ之ヲ抑ヘルノニハナカレ、骨ガ折レルノデアリマス、公債償還ノ爲ニ剩餘金ヲ使フト云フコトヨリハ事實一定ノ減債基金ヲ置イタ方ガ宜イヤウニナリハセヌカト考ヘテ居リマス

○委員長(荒井賢太郎君) 最早大藏大臣ニ御質問ノ點ハゴザイマセヌデセウカ

○仁尾惟茂君 チヨット御猶豫ガ出來マスレバ……次官ノ方デモ宜シウゴザイマスガ……

○國務大臣(男爵高橋是清君) 私本會ノ所デ呼バレテ居リマスカラ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ次官デモ宜シウゴザイマスガ

○仁尾惟茂君 宜シウゴザイマス

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ、此國債償還資金ノ繰入ヲ爲サザルコトニ關スル法律案ニ付テ御質問ノ點ガアリマスナラバ……

○男爵池田長康君 大藏次官ニ御伺ヒ致シマスルガ、此國債整理資金ノ方デ第二條四箇年間中止スルト云フコトニナリマスルノデアリマスルガ、四箇年間中止スルト云フコトハドウ云フ關係ニナルノデアリマセウカ

○政府委員(神野勝之助君) 四箇年間中止致シマスルノハ新規國防充實ニ關シテ其財源ノ一部ニ供スルト云フノデアリマスルカラ、新規國防充實ニ關スル經費ハ大正九年度カラ十二年度迄出シマシテ、ソレニ對スル今回増稅ニ係ル増收額ヲ充テマシテ、尙不足ヲ生ズルノデアリマス、ソレガ約四千萬圓カラ五千萬圓位、不足ヲ生ズルノデアリマデ、大正十年ニハ少ナウゴザイマスルガ、九年度カラ十二年度マデハサウ云フ風ニ不足ヲ生ズル、ソレ故ニ其經費ニ増稅收入ヲ充テマシテ、尙不足ヲ生ズル、國債償還資金ノ三

千萬圓ヲソレニ充當シテ行ク三千万圓ヲ充當シテ尙不足ヲ生ズル、其足ラナイ分ニ於テハ剩餘金ヲ以テ充當シテ行ク、斯ウ云フ計畫ニナテ居テ、十三年度カラハ其必要ガナイノデアリマス、ソレデ九年度カラ十二年度ニ至ル間ト云フコトニ致シマシタノデアリマス

○委員長(荒井賢太郎君) 最早此國債償還資金ノ繰入ヲ爲サザルコトニ關スル法案ニ付テハ御質問ハ宜シウゴザイマスガ

○男爵池田長康君 チヨット今ノ繼續デアリマスルガ、今日ノ計算カラ見マスト十三年度以後ノ國防計畫ニハ不足ヲ來タサヌト云フコトノ御說明ヲ伺ヒマシタガ、若シモ國防計畫ニ於テマダ不足ヲ生ズル場合ニハ又延バスト云フヤウナ結果……結論ニナルヤウニ考ヘマスルガ、其時ニナテ見ナケレバ分ラヌト云フ御考デアリマセウカ

○國務大臣(高橋是清君) 十三年度カラ不足ヲ生ズナイト云フコトヲ申上ゲタノハ少シ言葉ガ足りナカッタカ知レマセヌガ、大體十三年度カラモ増稅收入ダケデハ不足致シマスル、不足ヲ致シマスガ、十三年度以後ハ一般財源ノ餘裕ガアリマスカラ、一般財源ノ餘裕デ之ニ充當シテ十分デアルカラ、國際償還資金ノ充當ヲ必要トシナイト云フコトニナルノデアリマス、今ノ御問ノ國防計畫ガ變ハレバ尙ホ十三年度以後中止スル必要ガアリハシナイカト云フヤウナ御問ノヤウデアリマスルガ、此國防計畫ハ變ハラナイ積リデアリマスカラ、從テ十三年度以後更ニ繰入ヲ中止フル積リハゴザイマセヌ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ先ヅ一旦此國債償還資金ニ繰入レ爲サザルコトニ關スル法律案ニ付テ質問ガ濟ミマシタモノナラ次ノ法案ニ移ラウト思ヒマス、事業公債金特別會計法中改正法律案ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○仁尾惟茂君 是ハ全部一括シテ仰シタラドウデスカ

○委員長(荒井賢太郎君) 却ッテ混雜シヤシマセヌカ……本案ニ付テハ別ニ御質問ハアリマセヌカ

○委員長(荒井賢太郎君) 却ッテ御質問……

○仁尾惟茂君 御尋ヲ致シマスガ、此法案ヲ見マスと二億八千餘萬圓ノ公債發行ト云フコトニナテ居リマスガ、此二億八千餘萬圓ト云フモノハ他ノ豫算ノ關係ヲ見マスルト九年度ノミデ出テ居リマスルガ、ドコニモ出テ居ラナイ繼續モナケレバ又年度ヲ限テ九年度ニ使フ金デモナイ、殊ニ是ハ取止メガナイノミナラズ、是マデ斯様ニ何モ年度割ニ示サズ、事業ノ計畫デ示サズシテ斯ウ云フ様ニ協賛ヲ經タ例ガ

アリマセウカ、唯、近ク軍事費ニナリマスルトアルカト思ヒマスガ其他ニハ見當リマセヌ、如何デアリマセウカ

○政府委員(神野勝之助君) 是ハ別ニ繼續ト云フコトニ致シマセズシテ、年々便宜ヤシテ參ル積リデゴザイマスノ、繼續費トシテ別ニ御協賛ヲ經ルト云フ形式ハ採リマセヌデス

○仁尾惟茂君 是マデ斯様ナ例ガアリマシタデセウカ

○政府委員(神野勝之助君) 今チヨリ具體的ニ其例ガアツト云フコトヲ申上ゲ兼ネマスガ、アル積リデゴザイマス、後程調ベテ申上ゲマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今此席ニ參リマシタノデ、御質問ノ趣旨ハ伺ヒマセヌデシタガ、斯ウ云フ種類ノ金ノ出シ方ガアルカト云フコトデゴザイマスカ……

○仁尾惟茂君 公債募集ノ總額ガ舉テ居ルノミデアツテ此使途ガドウ使フコトヲ年割額モアリマセズ、又場所、事業ノ性質モ示シテナイ、ドウ云フ年ニドウ云フコトニ使フカト云フコトガ誤トシテ分リマセヌデス、其例ヲ今御尋ヲ申シタノデアリマス

○政府委員(堀田貢君) 實ハ此計畫ヲ立テマスル時ハ各方面ノ調査モ行ヒマシテ、御承知ノ通りニ道路會議等カラ建議ガアリ、旁々イタシマシタノデ、アレヤコレヤ色々ノ方面カラ道路ノ改良ノ聲ヲ聞クト云フヤウナ風ニナリマシテ、何トカセネバナリマイト云フ考ヘヲ以チマシテ、此處ニ提案シテ居リマスヤウナ計畫ヲ立テタノデアリマス、其計畫ハ豫算面ニハ上ツテ居リマセヌガ、昨日御配付申上ゲマシタ印刷物ノ中ニ道路會議ニ於テ調査審議セラレタル案ト其案ニ基イテ内務當局ニ於テ計畫シタモノト掲ゲテ御手許ニ差上ゲテアリマスガ大體其計畫ニ基イテ今後ヤテ行カウト云フコトニシテアルノデアリマス、之ヲ繼續トシテ來年度以降ノ分ハ更ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約案ヲ備ヘテ出スノガ適當デアラウカドウカト云フコトハ、色々調査ヲイタシマシタノデアリマスガ、此各府縣ニ於テ立テマシタル所ノ計畫ハ、要求ノ金額ガ非常ニ多クアリマス、ソレデ實ハ此計畫案ノ大體ガ議會ニ於テ認メラレマスレバ、更ニ道路會議ニ諮問イタシマシテ、各方面ノ要求ニ付テ種々付度イタシマシテ、若手順序、年割額等デ此計畫ノ金額ニ基イテ定メマシテ、然ル後此補助ノ金ヲ出ス、斯ウ云フ考ヘデ居リマス、其金ヲ如何ニ支出スルカト云フコトニ付キマシテハ、此昨日差上ゲマシタ印刷物ニ、細カニ表ヲ付テ差上ゲデアリマスガ、ソレヲ御覽下サリマスレバ、内務當局トシテ現在斯ウ云フ風ニアル考ヘデアルト云フコトヲ、御諒察下サルコトガ出來ヤウカト思フノデアリマス、此案ガ幸ニ議會ヲ通過イタシマスレバ、來月早々道路會議ヲ開イテ之ヲ諮ラ直グト極メル考ヘデアリマス、サウデアリマスカラ來年度以降ハ斯ウ云フ

形式ニ依ラズ、矢張り繼續費トシテ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヤウナ仕組ニシタナラバドウデアラウカト云フ考ヘヲ有テ居リマス、丁度トソククリ合ヒマセヌガ、御承知ノ此上水、下水ニ對スル補助費ハ今年ニ六百四十萬圓……毎年四百四十萬圓ト云フ總額デ別ニ繼續費ニナツテ居リマセヌ、併シ其金額ノ範圍内デ毎年ソレダケノ金額ハ出セルモノト云フ豫定ノ下ニ大藏財政ノ當局ニ於テモ、又議會ニ於テモ了解セラレテ居ル其關係カラ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲシテ毎年每年出シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是トシテ例デラウト思フノデアリマス

○男爵池田長康君 今政府委員ノ御話デゴザイマシタガ、此法案ハ法律案モ勿論アリマスシ、公債トシテ二億八千二百八十萬圓ト云フモノヲ募ルコトガ出來ルト云フコトデアレバ、是等ノ内容ガ矢張り的確ナルモノデナケレバ私ハイカヌヤウニ考ヘラレル、今御話ノヤウニ昨日戴キマシタ材料ヲ見マシテモ、是ハ内務省ノ主觀的ノ考ヘデアツテ、マダ客觀的ノモノニナツテ居リマセヌ、是ハ豫算ニ繼續費トシテ出テ、サウマシテ此場合ニ是ガ認メラレバソレガ客觀的ノモノデアリマスケレドモ、單ニ斯ウ云フ方針デアルト云フコトダラデアツテハ、二億八千二百八十萬圓ト云フモノハ如何ナル根柢デ我々ガ極メテ宜イカ、其所ハ私ハ非常ニ疑問ヲ感ズルノデアリマス、寧ろ大正九年度ニ於テ二百五十萬圓ト云フモノヲ御入用デアラナラバソレダケノ公債ヲ募集スルト云フコトデアラナラバ極ク明瞭デアル、其後ノモノニ付テハ或ハ繼續費其他ノコトニ依テ連續的ニ其豫算ナリ別ニ外ノ點ニ於テ明瞭ナルコトニナツテ、然ル後此總額ノ公債募集ノ法案ヲ御出シニナツタラ如何カト考ヘマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ御意見一應御尤ニ拜承イタシマシタガ各府縣、各重要都市ニ於テ現ニ此計畫案ノ通過ヲ大體豫定シテ居テ仕事ヤラウ、又從來ヤリツ、アツトゾ引續キヤデ行カウト云フコトニナツテ居リマスノデ、ソレハ矢張り此計畫案ガ道路會議デ定メラレシテ天下ニ公表シテアリマスヤウナ次第デアリマスノデ、皆大體此公債案ガ帝國議會ヲ通過スルト云フコトデアレバ、自分等ノ仕事モ其通過ノ前提ノ下ニシテ仕事ガ運ンデ行ケルト云フノデ、事實ニ於テハ繼續費ノ考ヘヲ以テ各地方デハ計畫ヲ樹テ、又樹テツ、アル次第デアリマス、現ニ東京市ニ於ケル路面改良ノ計畫ノ如キモ唯此公債法案ガ成定シマスレバ、來年幾ラ、再來年幾ラト云フ年度割ヲ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ以テ定メラレテ居ラナクトモ、此公表サレテ居ル計畫ヲ、貴衆兩院ニ於テ考慮ノ中ニ置カレテ御協賛イタサル以上ハ市自身ガ決定スルヤウニナルダラ

ウト云フ考ヘヲ以チマシテ、其考ヘノ下ニ今市會ニ提案サレテ居リマスガ、其案モ其考ヘノ下ニ編成サレテ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、實際ニ於テハ全ク斯ウ云フ風ナ年度割ノ下ニ繼續費ノ二支出サレルベキ前提ノ下ニ、各地方ガヤデ居リマスヤウナコトデアリマスノデ、是非此儘御認メテ願フ様ナコトニシタイト思フノデアリマス、尤モ此計畫ヲ樹テル基礎ニ付キマシテハ、如何様ニモ私ヨリ説明ヲ申上ゲマス、計算ノ基礎ナリ計畫ノ細カナ點ニ涉リマシテモ、出來ルダケノ説明ヲ申上ゲルコトハ出來マスノデアラウカ、是非トモ此儘御協賛ヲ願ヒ、ソレニ依テ各地方ニ於テ目下道路改良ノ熱心ノ希望ヲ有テ居リマス

○男爵池田長康君 政府委員ヨリノ御説明デアリマシタガ、聊カマダ私ハ了解シ兼ネル點ガゴザイマスガ、併シ今大藏次官ヨリイロイロ御話モアツタガ、先例モアルト云フコトデアリマスカラ、其先例モ拜見シマシテ、尙ホ疑問ノアル所ノ質疑ハ保留イタシテ置キタイト思ヒマス

○仁尾惟茂君 唯今政府委員ノ御説明ガアリマシタガ、ドウモハ繼續費ニナルノガ當リ前ノコトデ、或ハ逆ニナツテ居リハセヌカ、所謂總テ費用ノ支出ハ先ツ計畫ガ樹テ、サウシテ始メテ支出ヲ議スルト云フノデアルガ、財源ガ先キニアツテ、ソレカラ計畫ヲ諮ラ直グト云フ形ニナツテ居リマスカラ、協賛ヲ與ヘル上ニ於テ何モ見留メガ付カナイ、又一旦之ヲ決メタ以上ニハ、モウ止メルコトハ出來ナイノデ、ドンナコトデモ出來ル、好イタ通りニ出來ル形ニナツテ居リマスガ、何分工合ガ惡クナイカト思ヒマス

○政府委員(堀田貢君) 成ホ下唯今仁尾サンノ仰シヤルヤウニ、考ヘ方ニ依ルトサウ云フ風ノ傾向ガアリマスガ、是ハ實ハ各地方ノ要求ガ非常ニ多クアリマスノデ、其要求ヲ容レテ、一面ニ於テハ繼續費ノ編成ヲシ、一面ニ於テハ豫算外國庫ノ負擔ヲナスノ契約ノ仕組ミニ依リマシテ、要求ヲ致シマス、其莫大ノ金ヲ要求ヲ致シマシタル所ガ財政當局ニ於テ無論ソレヲ容レルト云フ餘裕ノナイコトハ分ツテ居リマスシ、サレバト云テ、道路改良ノ氣運ガ勃興シテ居ル際ニ、之ヲ等閑ニ付スルト云フコトハ、是ハ又ドウシテモ出來ヌヤウナ場合ニナツテ居リマスノデ、二億八千二百八十萬圓ト云フ多大ノ計畫ガ樹チマシタカラ其計畫ヲ以テ三十年間内外ノ年限デ、現金デ出シテ貰フコトガ出來マスミカ、サウスレバ初メノ年ニ於テモ、既ニ數十萬圓トカ數百萬圓ノ金額ガ必要デアル、三年カ四年カデ、三千万圓四千万圓ノ金ヲ要スルヤウナ計畫ニナツテ居ラナデアリマス、其案ヲ以テイロイロ大藏當局ニ交渉シマシタガ、ソレハ財政上到底出來ヌ、ソコデ財政上ノ關係カラ、九年度ニ二百五十萬

圖、其翌年ガ四百三十萬圓、其翌年ガ九百萬圓、其翌年ガ一千萬圓、トズト一千萬圓ト云フ風ニ、財政上ノ關係カラ査定サレテ、案ガ茲ニ今日出テ居ル次第補助ヲ要求シテ居ル數ハ實ニ夥シモノデ、是ダケノ最初ノ年割額ハ到底ヤリ切レヌ程アルノデアリマス、ソレヲ取捨スルニ付テハ素ヨリ内務當局單獨ノ意思ヲ以テ決定スルト云フコトハドウデアラウカト云フ考ガアルカラ、道路會議ヲ不日開イテ、之ニ諮フテ決メヤウ、決メルニ付テノ大體ノ標準、著手ノ方法等ニ付キマシテハ、御手許ニ差上ゲテアリマス、道路會議ガ決メタ著手順序ガアリマス、其大體根本方針ニ基イテ決メラレヤウニナルデアリマス、又其決メルニ付テハ道路會議ニ諮ラレテ決定スルノデ、道路會議ニハ御承知ノ通り貴族院、衆議院ノ方モ大勢見エテ居ル、ソレカラ關係各廳ノ高等官モ見エテ居テ、ソコシテ慎重審議セラルノデアリマスカラ、實際ノ運ビニ於キマシテハ、何等情弊ノ生ズルコトモナク、殆ド實際ニ於テ極メテ適切ナ背案ニ中タレル處置ヲスルコトガ出來ヤウト思フノデアリマス

○仁尾惟茂君 才ヨツト大藏ノ政府委員ニ伺ヒタイ、内務當局ノイロイロ御計畫ニナテ居ル所ハ、素ヨリ是ハ内輪コトニナテ居テ、總テノ方面ニ出シタノデナイカラ、若シ此三十年、二十年若クハ十年計畫ニ變ヘテモ、仕方ガナイガ、二億八千萬圓ノ中デヤル、最初ハ三十年デアリマシタガ、二十年、十年ニナテモ、拵ヘルコトハ出來マスマイト思ヒマス、ソコニ於テ財政計畫ノ上カラ斯様ニ漠タルモノヲ掲ゲテ置イテ、而シテ財政ノ上ノ計畫ガ立ツノデアリマセウカ、凡ソ此繼續費デアレバ年割額ヲ極メルニハ、チャントソレダケノモノガ定マラスカラ、ソレニ依テ計畫ヲ立テタルト云フノデアリマスガ、ソレモ僅カニ百五十萬圓ト云フ金ナラバ宜シイノデアリマスガ、二億八千萬圓殆ド三億ニ近イヤウナ巨額ノモノデアリマスルカラ、餘程是ハ財政計畫ノ上カラモ差支ヘヤシマセヌカト思ヒマスガ、如何ニ御考ニナリマスカ

○政府委員(神野勝之助君) ソレデ今年割ニ依テ公債募集ノ計畫ヲ極メテ參リマスカラ、漫リニ之ハ内務省カラ變更ノ協議ガアツカト云フデ、變ハルベキモノジヤナイト心得テ居ルノデアリマス、先キ數年間ノ公債募集計畫ト云フモノハ、全體ヲ總メテ參ルノデアリマスルカラ、之ヲ容易ニ變ヘ得ベキモノデモナク、又變ル考ハ今持テ居リマセヌデアリマス、先例ヲ調ベテ申上ゲマセヌト確タルコトハ申上ゲ兼ネルカモ知レマセヌガ、才ヨツト茲ニ思ヒ浮ンダケテ御參考ニ申上ゲヤウト思ヒマス、先キニ内務省政府委員カラ云ハレタ下水ノ補助費モサウデアルト思ヒマス、縣債利子補給ノ如キモサウデナカッタト思ヒマス、別ニ假ニ此契約ヲシテ豫算外國庫ノ負擔云々トシテヤテ居ルノジヤナイカト思

ヒマス、其他色々獎勵費ガアリマスガ、農業倉庫ノ獎勵トカ、農業ノ獎勵トカ云フヤウナモノガ、是等ハ無論其豫算外國庫ノ負擔デヤテ居ルト云フ譯デハナクシテ、年々折角ヤッテ居ルコト、考ヘテ居リマス、或ハ此製鐵所ガ彼ノ村ニ對シテ製鐵所ニ居ル所ノ小ノ職工ガ其地方ノ學校へ行ク大部分其製鐵所ニ勤メテ居ル人ガ行クノアル、ソレデ學校ニ幾分カ補助ヲシテヤル、村ニ補助ヲシテヤルト云フヤウナコトヲ、從來ヤッテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ無論村ニ對シテ豫算外國庫ノ負擔トナル契約ヲナシテヤテ居ル譯デナイノデアリマス、是ハ才ヨツト私ガ今思付イタダケノ話デアリマシテ、尙ホ確タルコトハ調ベテ申上ゲタイト思ヒマス、御參考マデニ...

○仁尾惟茂君 特例ヲ一ツ調ベテ其金額ト事柄ヲ...

○委員長(荒井賢太郎君) 私モ一ツ才ヨツト御尋ヲシタイノデスガ、只今ノ大藏次官ノ仰セニナツヤウナコトハアリマセウガ、公債ヲ法律デ募集額ヲ極メルノデスガ、何等カ此豫算ノ上ニ於テ公債ノ、チャント計畫ヲ致シタモノデナクシタ計畫ハトイヤウニ思ヒマシタガ、其公債募集ノ場合ニ左様ナ例ガアリマスガ、公債ヲ財源トスル事業ニ單ニ内部ノ計畫ノミニ基イテ表ニ何等現レタ計畫デナイ、ソレニ依テ公債法案ニ其總額ヲ極メテ仕舞フト云フヤウナ例ハ何カアリマセウカ...

○政府委員(神野勝之助君) 只今調ベテ見マスルガ、公債ヲ財源トシテヤルコトニ付テハ、ナカッタヤウニ思フノデアリマスガ、尙ホ取調ベマシテ...

○委員長(荒井賢太郎君) モウ一ツ内務省ニ伺ヒタイト思ヒマスルガ、參考トシテ表ヲ下サレマシタガ、中ニ三十年ノ計畫ヲ茲ニ出シテ居リマスガ、内務省デケデ御極メニナツタノデスカ、又土木會議ニハ掛ケナイノデスカ

○政府委員(堀田貢君) 是ハ道路法施行ニ關スル各種ノ準備ヲ爲ス爲メニ施行令其他ノ法令ヲ諮問シ又道路ノ改良計畫ヲ主トスル爲メニ其意見ヲ問ハムガ爲メニ道路會議ト云フモノヲ起シマシテ、道路會議ニ於テ建議ガアリマシテ、其建議ニ基イテ皆總テ當局ニ於テ案ヲ作ル、是ガ道路會議ニ出サレテ、道路會議ノ表面ハ道路會議ノ意見トシテ現レタ譯デアリマス、是ハ大藏省ノ當局トモ打合セノ上斯ウ云フヤウナ道路會議ガ出來テ居ルノデアリマス、道路會議ガ出來テ出來マスト同時ニ、印刷ニ付シテ夫々各府縣ニモ配布イタシ今年ノ春ニハ貴衆兩院ノ方ニモ全部配布ヲ致シマシタ、尙ホ附加ヘテ申上ゲテ於キマスルガ、此道路ノ改善ニ關シテハ改修ノ順序、國庫補助ノ順序、及ビ改修ノ幅員、改修ノ財源、改修ノ期間ト云フ風ニ、項々分クマシテ道路會議ニ於テハ之ヲ自己ノ意見トシテ内務大

臣ニ出シタ譯デアリマスル

○委員長(荒井賢太郎君) ドウモ將來三十年ト云フノハ餘程長イコトデアリマスガ、ソレヲ法律案ヲ確定シテ出スト云フコトハ何等カワレガチヨツト議會ガ認メテ、他日勝手ニ變更サレルト云フヤウナ虞モアリマスガ、ドウモ是ハ何レ先例ヲ御調ベ下サレテ、尙ホ御質問シテモ宜イト思ヒマス、ケレドモ、何トカマア少シ三十年ト云フマデ、將來非常ニ長ク定メテ公債ノ金額ヲ茲ニ決定シテ仕舞フト云フコトハ、斯ウ長ク三十年先キマデノ金額ヲ定メナケレバナラヌ必要ガアルノデスカ

○政府委員(堀田貢君) 實ハ此二億八千二百八十萬ト云フ金ヲ既ニ御手元ニ上ゲテアリマスル印刷物ニモアリマス通り、我ガ日本國ノ國道總延長約二千哩、幅員平均五間トシテ而シテ橋梁、トンネルヲ永久ノモノトラシムル爲ニ總テ工費三億十萬圓餘、之ニ對シテ國庫ヨリ工費ノ二分一場合ニ依リ三分ノ二ヲ補助スルモノトシ、一億六千七百五十六萬圓ノ支出ヲ求メナケレバナラヌデアリマス、又次ニハ軍事ヲ主トスル軍事ヲ目的トスル國道、是ハ約七十里バカリデアリマス、是ハ幅員平均四間トシテ其他ハ前項ニ準ジテ改修スルモノトシ總テ六百八十萬圓、之ヲ全部國庫ヨリ支出スル、其次ニ府縣道、以外ノ道路デ主要ナモノ、言ヲ換ヘレバ國家の見地カラ見テ相當助力ヲ與ヘテ改修セシメナケレバナラヌト云フヤウナ府縣道、尙ホ具體的ニ申シマスレバ師團カラ練兵場ニ行ク道路ガ幸ヒニ府縣道ニナテ居レバサウ云フモノハ地方ニバカリ任シテ置クコトハイカスト云フコトデ、サウ云フモノニ對シテ是ハ相當助力ヲ與ヘテ良イ道路ニシテ置カネバナラヌ、夫等ノモノガ府縣道ノ總延長一万二千五百里バカリアリマスガ、是丈ケ長イモノヲ全部構造令ノ規定ニ適合セシムルヤウトスルト十億五千萬圓バカリ要リマス、サウ云フ風ノコトハ到底出來マセヌカラ、其一万二千有餘里ノ内、軍事上其他國家的ノ見地カラ見テ戰時ニ改修ヲ必要トスルモノ約四百里ヲ取リマシラ、其改修費四千二百萬圓ニ對シテ國庫ヨリ千七百萬圓補助スル、ソレト東京、京都、大阪、橫濱、神戸、名古屋、六大都市ニ於ケル主要街路ノ改良ヲシテ二億七千萬圓バカリニナリマス、其工費ノ三分ノ一ヲ矢張り國庫補助トシテ支出シ九千萬圓ノ之ガ爲ニ要スル、ソレ是合セマスト總工費、六億二千八百八十萬圓ニナリマス、之ニ對スル補助額ハ先刻申シマシタ二億八千萬圓、斯ウ云フ風ニ兎ニ角此際道路改良ニ關スル大體ノ方針ヲ定メテ置キタイ、ソレニシテモ國道ハ全部兎ニ角或一定年內ニハ改良シタイ、ソレカラ軍事國道ソレハ是非ヤラネバナラヌ、ソレニ府縣道ニシ

テモ今ノヤウナ國家的見地ヲ見テ須要ナモノハ是非助ケテ
改修セネバナラヌ、ソレカラ重要都市ニ於テ主要街路是ハ
近頃ハ社會問題ガ喧マシクナッテ居ル今日デアリマスカラ、
一日モ早ク之ヲ改良シテ文明ノ都市トシテ耻ヂ無イヤウニ
シナレバナラヌト云フノデ、是等ノモノヲ總括スル一ツノ計
畫ヲ立テマシタ結果、茲ニ二億八千二百八十萬圓ト云フモ
ノニナリマシタ、ソレハ實ハ事業ヲ執行スル上カラ言ヘバ、或
ハ二十年度十五年度ト云フ位ニ執行スルノガ最適當デア
ルカモ如レマセヌガ、一方ニ於テハ財政上ノ都合モアリ、獨
リ是ハ國家財政ノ都合ノミナラズ、地方ニ於テモ半額若ク
ハソレ以上ノ負擔ヲスルノデアリマスカラ、地方財政ニモ考
慮ヲ與ヘネバナリマセヌノデ、先ヅ三十年位ハ適當ダラウト
云フノデアリマシタ、ソレヲシタデアリマス、之ヲ切放スコトニ
ナッテ來マスコバ國道全部ヤルコトニスルトカ、或ハ東京京
都大阪横濱神戸名古屋ノ内ヲ東京大阪丈ケニスルトカ云
フコトニナッテ來マス、サウナリマシテ實ハ一ツノ總マッタル計
畫トシテハ不完全至極ノモノニナリマスノデ、矢張り計畫ト
シテハ斯ウ云フ風ニシテ置クコトガ最適當デアラウ、固ヨリ
三十年ノ長ノ歲月デアリ、此間ニ物價ノ變動其他種々ナ
ル事情ニ依リマシテ、幾分カ將來數年十數年、後ニ變更ヲ
要スルコトハ起リ得ナイトハ限リマセヌ、是ハ獨リ此計畫ノ
ミナラズ、一般ノ計畫ニ於テモ常ニ見ル處デアリマスガ、此
點ハ他ノ計畫ト多少年限ノ長サノ相違コソアレ、大ナル差
ハナイ考デアリマス、全部之ヲ網羅スルコトニ致シマシタ
○政府委員(神野勝之助君) 歳出ノ年割ヲ定メナイデ、
歳入ダケノ計畫ヲ茲ニ立テルコトハ可笑イト云フヤウナ御
質問ノヤウデアリマスガ、一應御尤ニ考ヘマスノデス、併ナガ
ラ此計畫ノ來ル所以、此金額ノ生ズル所以ハ唯今内務當
局ヨリ説明セラレタル通りデアリマシテ、之ヲ十年、以後如
何ニ支出シテ行クカト云フコトハ十年以後年々ノ歳出豫
算ノ上デ帝國議會ノ協賛ヲ經ルノデアリマスカラ、茲ニ必ズ
シモ繼續費トシテ、年々歳出ニ決定スル此場合ニ議會ノ協
賛ヲ必ズ經テ置カムナラヌト云フ理由ハ無イカト思フノデ
アリマス、此場合ニ於テ大體ノ計畫ハ各計畫ヲシ之ニ對シ
テ其財源トシテ隨テ是丈ケノ公債募集ノ權能ヲ與ヘラレ
レバ、議會ニ於テ御協賛ヲ下サレバ、年々如何ニ之レヲ支出
シテ行クカト云フコトハ、更ニ年々ノ豫算ノ上ニ御協賛ヲ經
ルト云フコトニナレバ差支ナイカト考ヘテ居ルノデアリマス
○委員長(荒井賢太郎君) 最早道路法案ニ對シテ御質
問ゴザイマセヌカ
〔別ニアリマセヌト呼フ者アリ〕
○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ次ニ電信事業公債、
電話事業公債改正法律案、此二ツノ問題ニ供シマス

○仁尾惟茂君 昨ヨリ政府委員ニ御願ヒ致シマスガ、實
ハ此各法案ノ中ニ、若シ普通經費ニ屬シマスヤウナモノガ
公債ノ中ニ這入ッテ居リマスルカ、所謂生産的ノ事業以外
ノモノガ這入ッテ居リマスルカ、實ハマダソレゾレ書類ヲ見ル
暇モゴザイマセヌ、若シサウ云フモノガアレバ……此法案ノ中
ニ普通經費等ノ支辨ニ屬スルモノガアレバ御示シテ願ヒタ
イ
○政府委員(秦豐助君) 唯今ノ御尋ネノ要點ハチヨット
聽取リ兼ねマスガ
○仁尾惟茂君 各法案ノ中ニ生産的ノ事業ノコトニ非ズシ
テ、普通ノ經費ニ屬スルヤウナモノ、例ヘバ廳舎ノ新築トカ、
監獄ノ新築トカト云フヤウナモノガアリマスナレバ、此下ノ法
案ノ中ニドウ云フモノガアルト云フコトダケヲ御示シテ願ヒ
タイ
○政府委員(神野勝之助君) 御質問ノ趣意ハ何デゴザ
イマスガ、事業ト認ムベキモノデナクシテ公債ニ依ルヤウナモ
ノガ此中ニアリハシナイカト云フ御問ヒデスカ
○仁尾惟茂君 サウデス
○政府委員(神野勝之助君) 電信電話ノ中ニ……
○仁尾惟茂君 總テ各案ヲ通ジテデアリマス
○政府委員(神野勝之助君) ゴザイマセヌ、皆此事業ニ
關係イタシテ居ルモノデアリマス、但シ國債整理基金法其
他家祿賞典錄等ノモノハ、是ハ別ノモノデアリマス、此事業
公債法中ニハ事業ト認ムベキコトバカリデアリマス
○仁尾惟茂君 昨日ノ御説明ニ監獄費ノ如キモノガアル
ト云フコトデアリマシタ、ソレハドウ云フモノデスカ、サウ云フ
モノヲ御尋ネシタイ
○政府委員(神野勝之助君) 成ル程朝鮮事業公債法ノ
中ニハ、警察官舎新營費、ト云フモノガゴザイマス、或ハ監獄
新營費、是等ハ成ル程築港トカ、鐵道敷設トカ云フコト、
ハ稍趣キヲ異ニシテ居リマスルガ、廣ク考ヘマスレバ矢張り
工事、即チ事業ト云フモノカトモ考ヘラレ得ルノデアリマス
ルカラ、此事業公債ノ中デアラウト云フコトニナッテ居リマス
ルノデ、臺灣事業公債ノ中ニハ之ニ類似ノ例ガアリマシテ、
廳舎ノ建築等ハ既ニ臺灣事業公債法ノ中デアリマシタ、
ニ致シマシタ例モアリマスノデ、朝鮮ニモ同ジヤウナコトヲ致
シテ居ル次第デアリマス
○委員長(荒井賢太郎君) 電話事業公債ハ今回ガ初メ
デアゴザイマスカ
○政府委員(秦豐助君) 初メデアゴザイマス
○小山健三君 昨ヨリ政府委員ニ伺ヒマスガ、電信電話
ト云フモノハ、非常ニ不便ニナッテ居リマシテ、實際上電信ナ
ドハ非常ナ延著ガゴザイマスシ、間違モアリマスガ、電話ノ如

キモ甚シキニ至ルト五千圓モスルト云フヤウナ場合ガアル、
斯ウ云フモノナンデゴザイマスガ、モウ少シ急速ニオヤリナ
ル譯ニ行カヌモノデアリマセウカ、或ハ是ダケノ公債ヲ募ラレ
テ著手セラル、ト餘程緩和スル御見込デアリマセウカ
○政府委員(秦豐助君) 此御話ノヤウニ電信電話、殊ニ
電信デアリマスガ、是ガ非常ニ近來不十分ナル狀態ニナッ
テ居リマス、是ハ種々ノ原因モアリマスガ、電信ノ通數ガ非常
ニ殖エテ參リマシタ、大正七年度ノ通信數ハ約一億七千
二百萬ト云フヤウナコトニ上ッテ居ル次第デアリマスガ、丁
度明治四十一年通信數ニ比ベマスと十六割二分ニ劇增
シタヤウナ次第デアリマス、所ガ電信ノ方ノ機械並ニ線條ノ
方ハ二倍半位シカ……電信ノ線條ノ方ハ延長シタノガ二
割五分シカナイト云フヤウナ有様デアリマシテ、平和克復後
ニ至リマシテノ通信數ハ依然トシテ増加シテ居ルト云フヤ
ウナ狀態デアリマス、是ガ第一ニ電信ノハケノ惡イ一番ノ原
因ヲナシテ居ルト思ヒマス、ソレカラ又此電信線條及ビ機
械ノ方ガ既ニ廢朽ノ年限ガ來タモノガ多クアリマシテ、此線
條、機械等ノ故障ト云フモノガ多クイデアリマス、ソレガ爲ニ
通信ノ圓滑ヲ害スルト云フヤウナ次第デアリマス、是ニ付キ
マシテハ從來對策ヲ講ジマシテ、色々應急ノ手段ハ講ジ
テ居リマスノデアリマスガ、併ナガラ根本的ニ改良ヲ致シマ
センデハ到底間ニ合ヒマセヌ、即チ電信ノ通數ノ多クナリマ
スルニ付テ應ズルコトガ出來マセヌ、ソレデ此度大計畫ヲ立
テマシテ、根本的ニ改善ヲ致シタイ斯ウ云フ考デアリマス、
又此一面ニハ從業員ノ不足、是ガ殊ニ大正七年度頃カラ致
シマシテ非常ニ此種々ノ事業ガ盛ンデアリマシテ、ソレガ爲
ニ此電信ノ技術ヲ有シテ居ル者ト云フヤウナ從業員ガ高
イ給料ヲ以テ他ニ用ヒラレルト云フヤウナ譯デ、從テ不慣
ナ者ガ其ノ後デ繼イデ參ッテ居ルト云フヤウナコトカラ致シ
マシテ能力ガ下タト云フコトハ、是ハ爭ハレナイ事實デアリ
マス、ソレガ又一ツノ大イナル原因ヲナシテ居ル、從テ今日
甚ダ十分ナル所ノ狀態ヲ呈シテ居リマセヌ、從業員ノ缺員
ニ對シマシテハ、常ニ努メテ其補充ヲヤヤテ居リマスルガ、近
頃幾ラカ經濟上ノ狀況ガ變テ參リマシタ爲ニ此點ニ付キ
マシテハ稍緩和サレテ來タ傾向ガアリマスノデ、一層此點ニ
付テハ努メテ行ク積リデアリマス、併ナガラ大體ノ根本、前
申シマシタ通り線條ノ不足、ソレカラ機器ノ取換ヲ要スルモ
ノガ多イト云フヤウナコトガアルノデアリマス、此公債計畫ニ
依リマシテ七年度間ニ七千三百八十萬圓ヲ以テヤリタイ
ト云フ考デアリマス、ソレデ此年度割額ハ御手許ニ差上
ゲテ置イタト思ヒマスガ、此計畫ノ大要ヲ序ニ申上ゲマスレ
バ、電信事務開始ノ爲ニ約三百六萬圓、是ハ全國ノ郵便
局ガ八千九百餘局中電信事務ヲ開始シナイモノガ千百八

十局アリマス、ソレニ對シテ電信事務ヲ開始スル爲ニ要スルモノアリマス、電信線條不足補充及ビ能率高キ機械ノ採用ニ要スルノガ約二千三百五十萬圓、電信回線ノ負擔ヲ輕減スル爲メ電信線路一萬六百里ヲ架設スル又一面ニハ能率ヲ高クスル器械ヲ採用イタシマスシテ即チ方式變更、改良新器械ノ設備ヲ爲サントスルノアリマス、ソレカラ陸上電信線路改築、海底線整理及破損機械引換ノ爲ニ二千六百五十萬圓、是ハ線路器械ノ障害ガ度ニ頻發シマスルノデ、之ヲ除ク爲ニ腐朽シテ居ル電信柱約三十二萬本ヲ立テ替ヘナケレバナラス、又毀損機械ガ澤山アリマスノデ、之ヲモ引替ヘナケレバナラス、其ノ數ガ約二千七十座、ソレカラ風雨其他ノ天災ノ爲ニ年々或ル時期ニナルト何時モ事故ヲ起スコトガ經驗上分テ居リマスノデ、其地域七十五里ノ地下線ニ致シマスシテ、其障害ノナイヤウニスルト云フコトデアリマス、ソレカラ海底線デアリマス、今日ハ海底線モ段々複雑シテ參リマスシテ又増設スルコトモアリマスノデ、之ヲ整理シテ古イノハ取替ヘナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ氣送管ノ施設デアリマスガ、是ハ東京大阪等ノ大都市ニハ電信ノ發着ガ澤山アリマスシテ、其速度ヲ又誤謬ヲナクスト云フ爲ニ、又一面取扱吏員ノ負擔ヲ輕クスル爲ニ、氣送管ヲ十分ニシマスシテソレ局ト局トノ間ノ聯絡ヲ取り其發着ヲ早クスル、是ハ非常ニ金ノ掛ルコトデアリマスシテ、主ナル大都市ダケニ五百十萬圓ノ程度ヲ以テヤリタイノデアリマスガ、大變ナ金ガ掛リマスノデ、先ヅ東京大阪等ノ大都市ニ止メテ次第デアリマス、ソレカラ無線電信施設ニ約五十二萬圓ヲ要スルノデアリマスガ、是ハ現在ノ無線電信ノ改善ヲ計ルノト、陸上無線電信所ヲ三箇所設ケルト云フ金額デアリマス、其他海底電信敷設船ハ唯今二艘デヤッテ居リマスガ、之ガ足リマセヌノデ、海底線ガ不通トナリマスシテ、之ガ修繕モ出來ナイト云フ狀態ノ場所ガ随分アリマスノデ、今日デハ奉天九ノ二云フ敷設船ヲ借入レマスシテ、其構造ヲ變ヘマスシテ之ヲ敷設船ニシテヤッテ居リマスガ、是デハ十分デアリマセヌカラ、新タニ一艘ヲ造テ之ニ約二百六十五萬圓ノ金ヲ掛ケテ使用スルノト、現在アル所ノ二艘ニ對シテ大修繕ヲ施シテ使用スルコトニナッテ居リマス、ソレカラ又局舎ノ新築改善ト云フヤウナコトニ約七百三十三萬圓ヲ要スル次第デアリマス、以上ハ電信ノ方ノ計畫デアリマス、ソレカラ次ハ電話ノ方ハ既ニ計畫ヲ立テマシテ現ニ工費額一億千五百十五萬圓ヲ擴張工事ハ依リマス、工費額一億千五百十五萬圓ヲ擴張工事ハ既ニ數年度前カラヤッテ居リマスガ、ソレヲ九年度カラ更ニ二億二千五百五十萬圓ヲ追加シ總額三億七百萬圓ト云フコトデアリマス、大正十六年度迄ノ繼續費トシテヤル計畫デ

アリマス、是ハ六年度ニ於テ御協賛ヲ經マシタノデ一億一千五百五十萬圓當時ノ議會デ御協賛ヲ願ヒマシタノハ大正十三年度迄ニハ約十九萬人ノ加入者ヲ掛ケル、ソレカラ市外線ハ二萬九千里ヲ敷設スルト云フ計畫ニナッテ御協賛ヲ經マシタガ、其後物價騰貴益々騰貴イタシマスシテ其豫算ダケデハ豫定ノ半バスマルコトガ出來ナイト云フ有様ニナリマス、ソコデ一面ニハ加入者ハ益々増加イタシ既ニ今日迄滞リテ居リマスモノガ、二十六萬ニ上ッテ居リマス、ソレカラ市外通話ノ如キモ甚ダシクナリマスシテ、餘程待タナケレバ通話ガ出來ナイト云フ狀態デ、是モ要スル二線ガ少イカラシテ斯様ナ狀態ニナルノデアリマス、ソレカラ之ヲ増サナケレバナラスト云フコトニナリマス、是ハ物價騰貴ノ關係ダケデ云ヒマスルト、大正六年度ノ計畫ハ其後多少變更シマシタガ、兎ニ角既定ノ計畫ヲ實行スルニ尙ホ約七千萬圓ノ追加ヲ要スルコトニナリマス、之ダケデハ將來今日ノ社會狀態ニ適應スルコトガ出來マセヌノデ、此計畫ヲ立テマシタ、即チ大正十六年度迄ニ加入者ガ四十三萬八千餘、市外線ガ四萬五千里ヲ敷設スルト云フノデアリマス、之デ大體ニ於テ大正十六年度迄ニハ時勢モ進ンデ參リマセウガ、ソレニ適應スルコトガ出來ルト云フ考デ、斯ウ云フ計畫ヲ立テテ次第デアリマス、又重要都市間ニ於ケル聯絡線ヲ新タニ敷設スルト云フコトハ、最モ必要デアルト考ヘマス、之モ提出シテ次第デアリマス、要スルニ比較イタシマスルト加入者ニ於テハ二十四萬三千ヲ増加シ、又市外線ニ於テハ一萬六千里ヲ既定計畫ヨリ増シテ居ルト云フノガ大體デアリマス、繼續年期モ既定計畫ヨリ延バシマス、十六年度迄ト致シマス、是ハ固ヨリ財政ノ關係モアリマスガ、又材料調達等ノ關係モアリマスノデ、徒ラ二年限ヲ短ク致シマスシテモ、實際ニ繰越サナケレバナラスト云フヤウナ虞レノナイヤウニ致シタイト云フ考ヘデアリマス、此加入者ノコトデアルトカ、市外線ノコトデアルトカニ付キマスシテハ詳シイコトハ御尋ネニ依ッテ御答イタシマスルガ大要ハ右申シマス、通リデアリマスシテ、先ズ此ノ電信、電話共ニ此計畫ニ依ッテ進行イタシマス、今日ノ如キ不完全ナル狀態ヲ免レルコトガ出來ルト云フコトヲ信ジテ居ル次第デアリマス

○男爵池田長康君　ホソノ參考ニ承ハリタイノデスガ、電信電話ノ此擴張ニ要シマス公債ガ四億圓餘リニナルト考ヘマスガ、之ニ依ッテ收益ハドノ位増加スル御見込ミデアリマセウカ、參考ニ承ッテ置キタイ、今御分リニナラナケレバ何時デモ宜シイノデアリマス

○政府委員(秦豐助君)　此收益デアリマスガ、是ハ大體ハ見込ミヲ立テテ居リマスガ、實ハ電信ノ方ハデスナ、線ヲ増シタカラト云フテ、電話ト違ヒマス、金ヲ掛ケテ地下線ヲ

拵ヘタカラソレノ設備ノ爲ニ收益ハ出テ來マセヌデス、現在ノ設備ヲ殖シタカラ電信ノ疎通ガ宜シクナッテ、斯ウ云フ利益ガアルノデアリマス、實ハ白狀スレバ電信ニ付テ是マデ十分ニ金ガ掛ケテ居ラヌト云フノハ、電話ノ如ク直グニ加入者ガアレバ利益ガアル、ト云フコトノナイ爲ニ年々三百万圓シカ電信ニ掛ケテ居ラヌト云フヤウナ譯デアリマス、此方ハ收入ノ増加ト云フコトハ詰リ社會狀態ノ電信ノ通數ガ殖エマスルニ從ッテ、此方ノ設備ト云フヨリハ電信ノ數ガ殖エルニ付テ増ス收入ト云フ方ガ主ニナッテ居リマス、是ハドウシテモ豫想ニ止マル譯デアリマス、電話ノ方ハ架ケレバ架ケルニ從ッテ收益ガ明ニ具體的ニ出テ參リマス

○委員長(荒井賢太郎君)　兩案ニ付テ御質問アリマセヌカ、ソレデハ一應打切りマス、次ハ朝鮮事業公債、臺灣事業公債、樺太事業公債、此三ツヲ合セテ議題ニ供シマス

○仁尾惟茂君　此事柄ニ付キマスハ別ニ質議モ疑問モアリマセヌガ、此朝鮮特別會計ニ付テハ警察官署ノ新營監獄ノ修築費、是等ノ財源ニ付テ疑ヲ起シマス、ハ、公債支辨ニ依ッテシマスルモノハ生産的事業ノ外公債ヲ以テスルコトハナイノデアリマス、斯様ナ生産的事業ノナモノハ、無論普通經費ヲ以テスルコトニナッテ居ルノデアリマス、總テ生産的事業デナケレバ公債ヲ出サヌコトニ是マデナッテ居リマスノデスガ、若シ斯ウ云フコトガ追ニ行ハレルコトニナリマスレバ、財政ノ計畫上甚ダ亂ルコトニナル、公債政策上ニ付テモ面白クナイコト、考ヘマス、若シ果シテ是ガ追加豫算トシテ必要缺クベカラザルモノトスレバ、他ノ普通ノ財源ヲ以テスベキモノト考ヘマスルガ、サウナサレルコトガ出來ヌノデアリマセウカ、其邊ノコトヲ大藏當局ヨリ承リタイト思ヒマス

○政府委員(神野勝之助君)　御尤モナ御説ト考ヘマス、監獄ノ新營、警察官署ノ新營ノ類ハ出來得ルナラバ公債財源ニ依ラズシテ一般財源ニ依リマス、方ガ至當ト考ヘマス、唯朝鮮總督府會計ハ當年度ニ於キマスシテハ色々ナ事件ガアリマス、就中警察機關ノ改良、改革、其他騷擾事件等ガアリ、剩餘金等モ甚ダ缺乏イタシテ參ッテ、歲計ニ困難ヲ生ジタノデアリマス、而シテ一方ニ於テ急ヲ要スル事業ハ多クアル、一般會計カラモ千萬圓モ補給金ヲ繰入レナケレバナラスト云フヤウナ狀況ニ立チ至タノデアリマス、サウ云フ場合デアリマス、此豫算ニ掲ゲマスシタルモノハ皆必要止ムヲ得ヌト云フモノヨリ抜イデ豫算ニ掲ゲマスシタルノデアリマス、茲ニ已ムヲ得ズ警察官署ノ新營等ヲ公債財源ニ依ラナケレバナラヌヤウニナッテ云フノハ、サウ云フヤウナ事情カラ致シマスシテ、ヤルコトハ急ニヤラナケレバナラヌ、而シテ財源ニ、甚ダ餘裕ガナイト云フヤウナ事情カラ致シマスシテ止ムヲ得ズ公債財源ニ依リマス、是ハ全ク

不合理ナモノデアルカト申シマスル、サウデハナイト思フノ
デアリマス、事業ト申シマスレバ多クハ築港ノストカ、鐵道
建設改良ノストカ云フモノハ普通ノヤウデアリマスルガ、
廣ク考ヘテ見マスレバ此工事ヲスト云フコトモ亦一ツノ
事業ト見ラレナイコトモナイコト思ヒマス、又臺灣事業公債
ニ於キマシテ曩キニ土地ノ調査、貸租權ノ整理、廳舎ノ
新營、監獄ヲ新營シタリ、監舎ヲ新營シタリ、スルコトヲ臺灣
事業公債ニ於テ公債ヲ募集シテ、公債ノ財源トシテ致シタ
ト云フ前例、モアリマスルカラ、先ツ強テ不合理ナモノデナイ
ト考ヘマシテ、之ヲ公債事業ノ方ヘ入レマシタ次第デアリマ
ス

○仁尾雅茂君 是迄ハ生産の事業ト斯ウ云フモノヲ目
當トシテヤテ來テ居リマスガ、今ノ政府委員ノ言ハレル監
獄ノ如キ家ヲ立テル所ノ事業ハ、是ハ生産のト云フコトハ
是ハ出來ナイ、公債財源ハ生産の事業ト云フコトデアリマ
シタ、唯ノ事業デナク生産の事業ナラバ公債ヲ以テスル、
ドウシテモ此監獄ナド、云フモノハ生産のトハ言ハレヌ所ノ
モノデ、固ヨリ是ハ答刑ヲ廢シテ、ソレガ爲ニ罰金ヲ課スル
罰金ヲ課スレバ貧乏人ガ多イカラ拘留シナケレバナラス、コ
ウ云フコトニナリマスカラ、矢張り却テ現在ノヤウニ答刑ニ
シテ打叩イテ置ケバ五分間位デ済ム、ソレガ十日ノ拘留、二
十日ノ拘留、一箇月ノ拘留ト云フコトニナリマス、是ハ不
生産の事業デ、ドウシテモ生産の事業ト云フコトニハナ
リマス、マイト思ヒマス、ソレデ若シ之ヲ一旦今迄ノ例ヲ破ル
ト云フコトニナリマスル、此公債政策ニ甚ダ惡イ例ヲ開イ
テ行カケレバナラスデアリマセウト思ヒマス、ソレデ、若シ朝
鮮ハサウ云フ譯デ特別ノ理由ガアリ、是ハ内地一般ニマデ
採用シタ主義カラ取り除クベキモノト云フ何カ理由ガアル
デセウカ、是ハ矢張り生産の事業デアルト斯ウ云フ御趣意
デナサレルデアリマスガ、ソコヲモウ一ツ伺テ置キマス

○政府委員(神野勝之助君) 成ルベク公債財源ニナリマ
スルモノハ御話ノヤウニ生産の事業ニ依ル方ガ宜シイト考
ヘマスルガ、斯ノ如キ、言ハハ消極的の生産事業ハ成ルベクナ
ラバ普通財源ガ出來ルナラバヤルニシクハナイト考ヘマスガ、
何分ニモ朝鮮ノ如キ、或ハ臺灣ノ如キ、マデ此事業ノ新ナル
所ニ於キマシテハ、内地デヤルト同様ナ型ニ嵌メテ嚴格ニ
ヤテ行クト云フコトハ困難ナル場合ガアルト云フコトヲ御
承知ヲ願ヒタイノデアリマス、監獄ノ新營ノ如キモ必ズ例ガ
アルカラ無理ヤリニ之ヲヤルト云フ譯デモアリマセヌガ、既ニ
臺灣ニ於テモ其例ガアル、議會ニ於キマシテモ認メラレテ
居ルノデアリマスカラ、已ムヲ得ヌ場合トシテ朝鮮ニ於テモ
今回ノヤルト云フコトハ御認メヲ願フデ宜シクハナイト考
ヘテ居リマス

○委員長(荒井賢太郎君) 其他ニ御質問アリマセヌカ
○男爵東郷安君 私ハ朝鮮ノコトニ付キマシテ、水野總
監ニ御伺ヒシタイノデアリマスガ、今外デチヨット御差支ダシ
ウデスカラ後ニ留保シテ置キマス

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ次ノ大正五年法律
第四號中改正法律案、本案ハ別ニ御質問アリマセヌカ

○小山健三君 是ハ別ニ...

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ是ハ質問ハ濟ミマシ
タモノトシマシテ、次ハ國債整理基金特別會計法中改正
法律案、ソレカラ家祿賞典處分施行法中改正法律案、
鐵道國有法中改正法律案、京釜鐵道買収法中改正法律案、
案、此殘リノ四案ニ付テ御質問ヲ願ヒマス、私カラ一ツ
御質問イタシマスガ、此國債整理基金特別會計法中第五
條ニ政府ハ計算上利益アリト認ムル場合ニ於テ國債借
換ノ爲低利ノ國債ヲ募集スルコトヲ得、下アテ國債ノ有利
ノ場合ニハト云フヤウナ意味ヲ創ラレタ、此項ノ御説明
ニ依ルト云フト、ドウ云フ場合ガ有利デアルト云フ見極メハ
甚ダ困難デアルカラ創ラレタト云フコトデアリマス、今
後ハ無論サウ云フ場合モアリマセウガ、短期公債ヲ長期公
債ニ借換ヘルト云フヤウナ必要モアリ、又短期ノ公債ガ多
イカラ無論普通ノ財源ヲ以テ償還スルコトガ出來ナイ場合
ニハ自然有利デアルト有利デナイト問ハズ、借換ヲシナケ
レバナラスト云フヤウナ必要ガ起ルヤウニ思ヒマスガ、其ノ場
合モ是デ借換ヲシテ行カウト云フノデゴザイマセウカ

○政府委員(神野勝之助君) 借換ヲ致シマス場合ニハ、
無論有利デアルヤウニ考ヘマシテ借換ヲスルコト云フコトハ勿
論デアリマスガ、併シ場合ニヨリテハ市場ノ狀況ニ依リマシ
テ、舊債ヨリモ有利デナカッタト云フヤウナ場合ガ無イトモ限
ラヌト思フノデアリマス

○委員長(荒井賢太郎君) 今一ツ伺テ置キマスガ、此法
律ノ出來タ時分ハ多クハ長期ノ公債ガカラ之ヲ借換ヘルト
云フコトハ有利ナ場合ヲ考ヘテ借換ヘルト云フコトデアッタ
ラウト思ヒマスガ、今日デハ時局ノ關係等ニ於テ短期ノ公
債ガ多ク出來マシタカラ、其借換ガ必要デアルト云フ風ナ
場合ニドウシテモ是ハ借換ヘナケレバナラス、サウ云フ結果
ニナルカラサウ云フ場合ガ多ク之ニ適用サレルダラウト思ヒ
マス、其點ハ如何デアリセウカ

○政府委員(神野勝之助君) 御問ヒノ通り此法律ノ制
定セラレマス時ニハ、斯クノ如ク現在ノヤウニ短期ノ公債ガ
澤山アリマセヌ、長期ノ公債ノ借換ヘルト云フコトヲ主トシテ
考ヘテ居タモノデアラウト思ハレマス、現在ノ如ク短期ノ公
債ガ殖ヘテ居リマス場合ニ於キマシテハ、時トシテ必ズシモ
計算上有利ノモノニ限ルト云フコトハ言ハレ無イ場合ガア
ル

タト思ヒマス、旁ノソレヲ點カラ見マシテモ、計算上利益ガ
ナケレバ借換ヘルコトガ出來ナイト云ヒマス、殆ド借換ノ餘
裕ガ無イト云フヤウナコトニナリマス、其點ト併セテ改
正イタシタイト云フノデアリマス

○委員長(荒井賢太郎君) ソレカラ家祿賞典處分法
施行法中改正法律案ノ中ノ前項ノ公債ハ發行ノ年ヨリ
五年据置キ其翌年ヨリ五十年内ニ之ヲ償還スト云フコト
ニ改メテ居リマスガ、是ハ從來ノ法ヲ見タラ既ニ分ルト思ヒ
マスガ、此點ヲ御説明ヲ願タイ

○政府委員(神野勝之助君) 家祿賞典處分法施行
法第五條ノ現行法ハ件テ居リマス、第五條ノ祿高整理ノ爲
發行スル公債證書ハ一千万圓以內トシ其利率ハ一箇年
百分ノ五トス、前項公債ノ利子ノ仕拂期ハ毎年三月及
九月トス、下云フコトニナッテ居リマス、第二項ノ前項ノ公債
ノ利子支拂期ハ毎年三月及九月トス、三月九月ト限定
スルコトガ面白ク無イト思フノデアリマス、今日公債支拂期
ヲ一年四期ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレハ公債所有者ノ
便利モ圖リマシテ、一年ニ二度利拂ヒヲ受ケルヨリモ四度
利拂ヒヲ受ケタガ便利デアリマス、又市場ニ關スル金融上
ノ關係カラ見マシテモ其方ガ良カラウト思ヒマス、又國庫ノ
關係カラ云フテモ、分ケテ拂出シタガ宜シイト云フヤウナ
點カラ致シマシテ、唯今ハ四期ニ分テ利拂ヒヲスルコトニ
致シテ居リマス、此法律ニ依ッテ毎年三月九月ト斯ク限定
サレタノハ今後取ッテ行キマス方針ト一致シナイノデアリマ
スカラ、之ヲ改メテ公債ノ利拂期ト云フモノハ一般ノ公債
ニ關スル原則ニ從ッテ行カウト云フ趣意カラ利拂期ト云フ
モノヲ削ッテ仕舞ッテシテ五年据置キ其翌年カラ五十
箇年ニ償還スト云フコトハ家祿賞典處分法ニ公債證書ヲ
ヤル場合ニ五十箇年ノ償還期公債デアルト云フコトヲ茲ニ
法律ヲ以テ明定シテ置キタイト云フ趣意カラ二項ヲ斯ノ如
ク變ヘタト云フ趣意デアリマス、或ハ短期ヲ以テシ、或ハアル
モノニハ長期ノモノヲ以テヤルト云フ譯デナク家祿賞典處
分ノ爲ニアル公債ヲ五年据置キ其五十箇年償還ノ五分利付
キノモノヲ以テスルト云フコトヲ規定イタシタ趣意デアリマ
ス

○政府委員(森俊六郎君) 唯今大藏次官カラ御答ヘ申
シマシタガ、チヨット補足シテ唯今ノ大藏次官ノ御説明ノ點
ヲ補フテ置キマス、ソレハ唯今次官ノ御説明ニアリマシタ所
ノ第五條ノ第二項ノ點ノ御説明デアリマス、此第五條ノ二
項ヲ左ノ如ク改ムルト致シマシテ、前項公債ハ發行ノ年カ
ラ五年据置キ、其ノ翌年ヨリ五十年内ニ之ヲ償還スト改
正ヲ致シマシタノハ、第六條第二項ノ削除ニ關聯ガアリマ

ス其點ダケヲ補足シテ置キタイト思ヒマス、家祿賞典法施行法第六條ニハ斯ウ云フコトガ規定サレテ居リマス、第六條ノ前條ノ公債證書ハ隨時之ヲ發行シ券面金額ノ計算ヲ以テ交付スル第二項ノ前條ノ公債ニ關シ此法律ニ規定セサル事項ニ付テハ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ノ適用スルコトニテ居リマス、茲ニ其第二項ノ規定ヲ適用ガナクナルノデ、從テ此公債ニ付テモ國債ニ關スル規定ニ依ルモノデアリマス、其償還期限等ハ大藏大臣ガ隨意ニ決メルモノデアリマス、他ノ公債ト云フモノハ、其都度大藏省ノ見所ニ依テ期限等ヲ決メルコトハ勿論差支ヘナイノデアリマス、家祿賞典法ニ依テ、公布イタシマスト公債ハ代償公債デアラフ、現行ノ交付ニ變ヘテ之ヲ交付イタシマス、斯ウ云フヤウニ二十年ナリ或ハ五十年ト云フヤウデアラフハ不公平ト存ジマス、整理公債條例ノ規定シテアリマス事項ヲ削除イタシマス爲ニ、整理公債條例ノ或ル事項ヲ此處ニ持テ來タノデ、ソレハ即チ家祿賞典法ニ依テ施行法ニ規定ガアリマス、整理公債條例ニ依ル其第九條ニ斯ウ云フ規定ガアリマス、整理公債條例第九條「整理公債元金ハ募集ノ年ヨリ五箇年据置キ其翌年ヨリ向五十年間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノトス但償還金額ハ其時々大藏大臣之ヲ定メ豫メ告示スヘシトナッテ居ル其規定ガ削ラレマシテ、其適用ガナクナリマス、期限等ニ付テ不明ニ相成リマス」第五條ノ第二項ヲ削リマシテ、其削リマシテ代ハリニ整理公債條例中ノ五箇年据置キ五十年償還ト云フヲ入レテアリマス、ソレデ唯今御質問ノ御答ガ出來タト思ヒマス

○委員長(荒井賢太郎君) 分リマシタガサウ致シマス、是ハ何等カ賞典祿處分ノ公債ヲ唯今發行スル必要ガアツテ其利拂期ヲ改メテ四期ニ定メルト云フコトノ必要ガアツテ之ヲ臨時議會ニ此法案ガ出タ譯デアリマス

○政府委員(森俊六郎君) 唯今ノ御承知ノ通り賞典祿ノ交付ノ方ハ段々實行イタシテ居リマス、行政裁判ノ確定ニ從テ交付イタシテ居リマス、其公債ハ一般公債ニ依ルヤウナコトニシタイト考ヘテ居リマス、簡單ニ申シマスレバ公債ノ整理統一ヲ計リタイト云フ趣意カラ出タノデアリマス

○小山健三君 臺灣ノ方ハ下ナタカ御出席ニナッテ居マスカ、若シ御出ガナケレバ大藏次官ニ伺ヒマスガ……

○委員長(荒井賢太郎君) 臺灣ノ政府委員ハ御出席ニナッテ居リマスガ……

○男爵東郷安君 ソレデハ其前ニ朝鮮ノコトヲ御尋シテ宜シウゴザイマスガ

○委員長(荒井賢太郎君) 朝鮮ノ政務總監ガ出ラレマ

シタカラ……

○男爵東郷安君 私ガ御尋申上ゲタノハ、唯今茲ニ御提案ニナッテ居リマス朝鮮ノ事業公債ニ依ッテ支辨セラル、豫定事業ノ中鹽田擴張ノ件デアリマス、鹽田ニ付キマシテ朝鮮ノ鹽業及内地朝鮮、其他植民地ヲ通ジテ一般ノ鹽業政策ニ關スル方面カラ此事業ヲ觀察イタシテ見タイト思フノデアリマス、今回朝鮮ノ關稅ヲ改正セラレマシテ、其別表ニ於テ、鹽價從來從價七分五厘デアリマシタノヲ、天日鹽ハ百斤ニ付キ十錢其他ハ從價ノ三割ト御加ヘニナッテ、而シテ此事業公債ノ豫定ニ依リマシテ、廣梁灣ヲ中心トスル鹽田ノ擴張ヲ御計畫ニナッテ、此御計畫ニ依ッテ、大體拜見シマス、今日マデ朝鮮内地ニ於テ出來マス鹽ハ平均三億五千萬斤デアラフ、全需用額ノ三分ノ一ヲ充タスニ過ギナイ、其三分ノ二ハ支那其他ノ方面ヨリ輸入セラル、ゴトニナッテ居ル、サウシマス、今後鹽田ヲ擴張セラレマシテ、是等ノ輸入ヲ止メ、從テ自給自足ノ域ニ達セラル、コトハ一應御尤ナル計畫デアリマスガ、之ニ依ッテ鹽ノ直段從來ヨリ高クナルト云フモノ、亦已ムヲ得ナイコトデアラウト思フ、鹽價ト云フモノ、朝鮮ニ於ケル生活上ノ意義ヲ考ヘテ見ルトハ程度ノ人民ガ鹽ヲ如何ニ用ヒルカ、殊ニ朝鮮人ニ日常鹽ガ如何ニ重要視セラレテ居ルカト云フコトハ當局ハ能ク御存ジノコトデアラウ、是ガ一日モ無ケレバナラヌト同時ニ、之アルガ爲ニ、彼等ノ生活ガ安易デアルノデアリマス、然ルニ今課稅ノ結果價格ガ騰貴シマスレバ、彼等ノ生活上ニ惡シキ影響ヲ及ボスノデハナカラウカト云フコトハ、我々考ヘナケレバナラヌ、又モウ少シ大キク考ヘマスレバ、朝鮮ノ自給自足ハ結構デアリマス、廣梁灣其他ノ鹽田ノ擴張ハ結構デアリマスガ、今内地ニ於テ臨時經濟調查會デ、日本ノ鹽業政策ノ根本ヲ定メルコトニ付テ研究シテ居ル、此際ニ朝鮮タケノ鹽田政策ヲ部分的ニ立テラレト云フコトハ今ノ調査機關……之ヲ監督シテ居ラル、大藏大臣ニ向ッテ如何ナル御交渉ガアツタノカ、我々ハ近キ將來ニ於テ我國ノ鹽業政策ハ各殖民地ヲ通ジ諸外國ヲ通ジテ確立セラルベキモノデ、朝鮮タケノ先ニ計畫ヲ立テラル、ノハ、早キニ失スルモノデハナイカト思フ、此點ニ付テ御説明ヲ乞ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君) 唯今ノ御尋ハ御尤ナ御尋デ、朝鮮ト致シマシテハ、御承知ノヤウニ朝鮮内地ノ鹽ノ需要ト云フモノガ多イノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、從來鹽田ニ對シマシテ、之ガ計畫ヲ立テマシテ、御承知ノ如ク廣梁灣ヲ中心ト致シマシテ、鹽田事業ヲ經營シテ居リマスガ、御話ノ如ク鹽ニ對スル全般ノ政策ヲ講ズルコトハ、是ハ深ク考ヘネバナラヌ、獨リ朝鮮内地ノナラヌ、臺灣内地總テニ通ジテ講究ヲ要スルト云フコトハ申スマデモナイガ、朝鮮

ト致シマシテハ、ソレニ對シマスル計畫ノ一端ト致シマシテ、唯今御話ノヤウニ從來朝鮮ニ於ケル鹽ノ生産額ハ約三億五千萬斤デアリマスケレドモ、固ヨリ是デハ十分デナイ、東郷男爵ガ御承知ノ如ク、又御尋ノ中ニモアリマシタガ如ク、消費額ノ約三分ノ二ニ相當スル食料鹽ト云フモノハ、外國ノ輸入ヲ仰イデ居ル情況ナノデ、ソレデアリマスガ、之ニ對シテハドウ致シマシテモ……朝鮮内地ニ於ケル鹽ハ幸ニ天候ノ結果、其他ノ事情デ、内地ニ於ケルヨリハ、ヨリ低廉ナル生産費デ生産シ得ラレト云フ狀況デアリマスガ、是ハドウシテモ鹽田ヲ擴張シテ鹽ノ供給ヲ豐富ニスル必要ガアルト考ヘマス、ソレデアリマスガ、ソレガ爲ニ此度鹽田ノ擴張計畫ト云フモノヲ立テタノデアリマシテ、幸ヒ此鹽田擴張事業ガ相當ノ成績ヲ舉ゲレバ、朝鮮内地ニ於ケル供給ヲ豐富ナラシムル共ニ、外國ヨリ輸入スル鹽ヲ防止スルコトモ出來ルト云フ趣意ヨリシテ計畫ヲ立テマシタノデ、全般ノ鹽ノ政策ト致シテ講究イタシマシテモ、是ダケノ事ハヤラネバナラヌト云フコトデ、此計畫ヲ立テ、大藏省ノ方トモ打合せセテ、之ニ對スル公債事業ヲ認メラル、ヤウニシタイト、サウ云フヤウナ次第デ斯ウ云フ計畫ヲ立テマシタ譯デアリマス、尙關稅等ノ關係ニ付キマシテ私ノ承知セヌ所モデアリマスガ、他ノ政府委員カラ……

○政府委員(大塚常三郎君) 此關稅ノ點ニ付キマシテ、唯今ノ御質問ニ御答ヘイタシマスルガ、今度ノ關稅ノ改正ニ依リマスレバ、每百斤普通鹽ハ十錢ノ稅金ヲ取ルノデアリマス、ソレカラ其他加工シタル鹽ハ三割ニナリマスノデアリマスガ、是ハ殆んど加工シタル鹽ハ朝鮮人ニ需要ハナイノデアリマス、又輸入額ニ於テモ極メテ稀デアリマシテ實際影響ヲ受ケマスノハ天日鹽、碎カザルモノデアリマス、是ハ從來七分五厘ノ課稅ヲ受ケテ居タノデアリマスガ、近頃ノ時價ニ依リマスルト昨年アタリハ三圓五十錢今日デハ或ハ二圓少シ上位ニナッテ居ルト思ヒマス、三圓五十錢位ノ時價デアリマスレバ、從來ハ百斤ニ付テ二十五錢餘ノ稅ガ課シテ居リマシタ、唯今ノ時價デアレバ十五錢位課カテ居リマス、是ヲ遞減サレタ關係ニナリマス、ソレガ爲メ朝鮮人ノ生活ノ安定ヲ破ルト云フ惡イ方ノ、高イ鹽ヲ消費サセルヤウナ虞ハナイコト、信ジテ居リマス

○男爵東郷安君 私ノ御尋ガ少シ徹底シナカッタ嫌ヒガアルヤウデアリマスガ、私ノ御尋シテ居ルノハ第一ニ朝鮮人ノ立場ニ立テ考ヘテ見ル、ソレカラ、第二ハ内地ノ中央政府ノ立場ニ立テ考ヘテ見ルト云フコトデアリマス、ソレデ第一ノ質問ニ對シマシテ、朝鮮ニ對シ鹽ノ價值ハ左程騰ラナイカラ宜カラウト云フ御見込ト伺ヒマシタガ、此點ニ付テハ十分ニ了解ガ出來ナイノデアリマスガ、第二ノ點ニ付テハ

ト致シマシテハ、ソレニ對シマスル計畫ノ一端ト致シマシテ、唯今御話ノヤウニ從來朝鮮ニ於ケル鹽ノ生産額ハ約三億五千萬斤デアリマスケレドモ、固ヨリ是デハ十分デナイ、東郷男爵ガ御承知ノ如ク、又御尋ノ中ニモアリマシタガ如ク、消費額ノ約三分ノ二ニ相當スル食料鹽ト云フモノハ、外國ノ輸入ヲ仰イデ居ル情況ナノデ、ソレデアリマスガ、之ニ對シテハドウ致シマシテモ……朝鮮内地ニ於ケル鹽ハ幸ニ天候ノ結果、其他ノ事情デ、内地ニ於ケルヨリハ、ヨリ低廉ナル生産費デ生産シ得ラレト云フ狀況デアリマスガ、是ハドウシテモ鹽田ヲ擴張シテ鹽ノ供給ヲ豐富ニスル必要ガアルト考ヘマス、ソレデアリマスガ、ソレガ爲ニ此度鹽田ノ擴張計畫ト云フモノヲ立テタノデアリマシテ、幸ヒ此鹽田擴張事業ガ相當ノ成績ヲ舉ゲレバ、朝鮮内地ニ於ケル供給ヲ豐富ナラシムル共ニ、外國ヨリ輸入スル鹽ヲ防止スルコトモ出來ルト云フ趣意ヨリシテ計畫ヲ立テマシタノデ、全般ノ鹽ノ政策ト致シテ講究イタシマシテモ、是ダケノ事ハヤラネバナラヌト云フコトデ、此計畫ヲ立テ、大藏省ノ方トモ打合せセテ、之ニ對スル公債事業ヲ認メラル、ヤウニシタイト、サウ云フヤウナ次第デ斯ウ云フ計畫ヲ立テマシタ譯デアリマス、尙關稅等ノ關係ニ付キマシテ私ノ承知セヌ所モデアリマスガ、他ノ政府委員カラ……

私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、御承知ノ通り日本ガ供給ヲ受ケマス鹽ハ臺灣青島關東州朝鮮、内地、此四箇所デ……内地タケハ例外デアリマス、其中デ朝鮮ガ最も惡イ生産費ト云フモノガ高イノデアリマス、從來モソレガ爲メ山東方面關東方面カラ朝鮮ニ輸入シテ居タ、ドウシテモ將來自給自足ノ政策ヲ採ラナケレバ今日以上ニ財政問題ニ付テ……普通碎カザル鹽即チ朝鮮人ノ普通用ヒマス鹽ニ付テ高クナルト云フコトニナルノデアリマス、從テ是ガ朝鮮人ノ生活ノ爲メニ惡イ影響ヲ及ボシハシナイカ、又第二ニ全體ノ政策カラ考ヘテ見マシテ、朝鮮ニ製鹽ヲ與ノト云フコトハ、朝鮮當局者トシテ御考ヘニナルコトデアリマスガ、將來中央政府ニ於テ鹽業ノ根本政策ヲ立テル時ニ或ハ是ガ矛盾スル結果ヲ起シハシナイカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、其點ハ如何デゴザイマス

○政府委員(大塚常三郎君) 唯今ノ御意見ニ依レバ、此朝鮮ノ鹽ガ關稅改正ノ爲ニ、又朝鮮ニ於テ製鹽事業開始ノ爲メニ高クナルト云フヤウナ風ニ拜聽致シマシタガ左様デゴザイマス

○男爵東郷安君 將來、結果ニ於テハ朝鮮内地ノ生産費ト關稅ニ依ル高トヲ加ヘタモノダケ高クナラナケレバナラヌ、譯デ、ソレハ他ノ青島トカ關東州ト云フヤウナ、ヨリ良キ生産條件ヲ有シテ居ル所トハ違テ、ドウシテモ高クナル結果ニナラナケレバナラナイ、現在ノ朝鮮ニ於ケル鹽ノ値段ヨリドウシテモ騰貴スルト云フコトハ考ヘラレルト思ヒマスガ如何デス

○政府委員(大塚常三郎君) 其點ハ先程申上ゲル通り、關稅ノ實際ノ率ハ下ガルノデアリマス、改正關稅法ニ依リマスレバ百斤當リ十錢、現在ハ從價七分五厘デアリマス、現在ノ價額デアリマスレバ二圓カラ三圓五十錢四圓ホドニナタコトモアリマスガ、ソレノ七分五厘デアリマス少ナクトモ十五錢以上ニナル、ソレデ三分ノ一位ノ稅率ハ廉クナルノデアリマス、又此天日岩鹽ニ付テハ、鹽田ハ年所ヲ經ルニ從テ生産ノ額ハ増シ、同時ニ技術ガ熟練シマスレバ生産費ハ段々下テ來ルノデアリマス、今日以上高クナルト云フコトハ、想像出來ナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵東郷安君 種々御説明ノヤウデアリマスガ、新タニ鹽田ヲ擴張サシテ生産費ナリ何ナリ算盤ガ取レルト云フ御見込デアリマス

○政府委員(大塚常三郎君) 鹽田ヲ造リマシタ年ハ甚ダ生産額ガ少ナイノデアリマス、是ガ段々熟練スルニ從テ年々生産率ハ増シテ參リマス、少ナクトモ今日ノ狀況ヨリハ生産費ガ下テ行クコトダラウト思ヒマス

○男爵東郷安君 此鹽ノ全政策ニ關シテ總督府ヨリ中央政府ニ御相談ニ相成タノデアリマスガ、ソレヲ水野總監ヨリ伺ヒタイ

○政府委員(水野鍊太郎君) 全政策ト申シマシテ別ニ鹽ノ問題ニ付テ中央政府ト特ニ交渉シタコトハゴザイマセヌ、併シ此豫算ヲ編成スルニ當リマシテ、鹽田擴張計畫ヲ立テマシタ、是ハ固ヨリ豫算ヲ編成シマスカラ大藏省ノ同意ヲ得ルコト云フコトガアリマス、殊ニ此事業ハ、公債支辨デアリマス、其内容ハ、公債支辨ニ依リテ鹽田擴張費ヲ是ダケ計上シ、其内カラ、ハスクノモノノデアリマス云フコトニ付テ固ヨリ大藏省ハ承認シタモノト考ヘテ居リマス

○男爵東郷安君 然ラバ立入ッテ少シ伺ヒマスガ、御承知ノ通り内閣ノ直轄デ臨時産業調查會ヲ設ケラレマシテ鹽業政策ノ根本ニ付テ朝鮮ノ名士ヲ集メテ今攻究中デアリマス、又幾分其内容モ整頓シテ來タモノ、如クニ承テ居リマス、此根本政策中ニ朝鮮ノ鹽業問題、又鹽田擴張ノ問題ハ含マレベキモノト思ヒマスガ、然ルニ大藏當局ハ單ニ朝鮮當局ノ提出サレタ豫算ノミニ付テ御考ヘニナタノデアリマス、此點モ御考慮ノ上デ御同意ニナタノデアリマス、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(神野勝之助君) 經濟調查會ニ於テ鹽ノ供給ニ付テ根本政策ヲ調查研究イタシテ居ルノデアリマスガ未ダドウ云フ成案ヲ得タコト云フ場合ニハ達シマセヌノデアリマス、併シ伺ヒテ居ル所ニ依リマスレバ、矢張り朝鮮臺灣等モ包括シテ全般ノ鹽ノ根本政策ヲ一ツ攻究シヤウト云フヤウナコトデ委員ガ調ベラレテ居ルヤウデアリマス、朝鮮ノ鹽田整理ノコトモ無論ソレデ全般ノ鹽ノ政策ト云フコトニ關聯シテ參ルノデアリマス、大藏省ニ於テ此鹽田整理ノ計畫ニ付テハ全體ノ計畫ノ中ニ包含サレテ居ルモノトシテ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵東郷安君 唯今ノヤウナ御説明デアリマスレバ、將來鹽業政策ノ根本ヲ確立シタ後ニ、朝鮮ニ於テ生産ノ分量ヲ豫想シテ、ソレデ鹽業政策ノ基礎ヲナスモノデアルト言ハレルガ、其間ノ色々困難ナル問題ニ付テハ目下調査會ニ於テ調査中デアルト言ハレルガ、モト調査スベキ所ガアルカト思ヒマス、今鹽ノ如キハ國家ノ基礎工業トシテ最も重大ナルモノ、一ツトシテ考慮スベキモノデアリマスガ、私ハ何モ之ヲ今年ヤラナケレバナラヌト云フ絕對ノ理由ハナイト思ヒマス、之ヲ暫ク此ノ根本政府樹立ノ曉マデ御待チニナルノガ至當デアルト思ヒマス、其點ニ付テ大藏次官並ニ水野政務總監ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(神野勝之助君) 鹽ニ關シマシテハ、玄人ノ人ノ話デアリマスガ、朝鮮ノ天日製鹽業ハ頗ル有望デ、且ツ

西海岸一帶ハ天日製鹽ニ適シテ居ルコト云フコトヲ申シテ居リマス、デアリマスカラ朝鮮ニ於テ一日モ早ク之ニ著手シテ、事業樹立ノ道ニ早ク著ク思フコトガ出來ラウカラ、速ニ著手イタス方ガ至當デナイカト思フノデアリマス、調查會ニ於テドウ云フ成案ヲ得ルカハ存ジマセヌガ、兎ニ角有望デアルトハ一日モ早ク速ニ著手シテ事業樹立ノ道ニ向テ行クコトハ、鹽ノ根本政策ガ極ナリデモ、是ハ間違ヒナイ道デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵東郷安君 大藏次官ハ鹽ニ關スル、財政調查會ノ委員ノ御一人デアアルカト記憶シテ居リマス、從テ鹽ニ關スル事柄ハ能ク御承知カト思ヒマスガ、朝鮮ノ鹽ニ付テ如何ナル調査ヲセラレテ居リマスガ、又臺灣、關東州ノ鹽ニ比シテ如何ニ遜色ガアルカト云フコトニ付テモ皆御存ジテラウト思ヒマスガ、此ノ遜色アルモノヲ急イデ極メテシマウ、サウシテカラ根本政策ニ向テ内地ニ鹽ヲ供給スルト云フコトハ、需要供給ノ本末ヲ顛倒シテ居ルモノト思ヒマス、私ハ唯今ノ御答辯ハ甚ダ矛盾シテ居ルモノト思ヒマス

○政府委員(神野勝之助君) 朝鮮鹽生産費ニ付キマシテハ私ノ承テ居ル所デハ人々ニ依リ意見ガ違テ居ルヤウデアリマス、ソレデ丁度專賣局カラモアリマスガ、人々依リ生産費ガ高イト云フ人モアリ、安イト云フ人モアルヤウデアリマス、ソレデ朝鮮デ生産シマス天日製鹽ガ關東鹽ナドヨリモ生産費ガ高ク又品モ惡イト云フコトハ、此所ニ一概ニ斷定スルコトハ出來ナイコト思ヒマス、又我ガ領土内ニ於テ事業樹立ノ道ヲ計ル方法ガアルナレバ、或ハ多少生産費ハ高クテモ其方ヲ早ク開拓シテ置ク方ガ宜シイカト考ヘルノデアリマス

○男爵東郷安君 私ハ只今ノ御説明ハ臺灣鹽ノ專門家其他ノ當局ノ人ノ前デ御披露ヲ願ヒタイ、臺灣ノ人モ矢張り同ジコトヲ申シテ居ル、即チ臺灣ニ於テハ日本ノ將來ノ需要供給ヲ一手デ引受ケテモ尙ホ餘リアル生産品ガアルヤウニ云テ居ル、又青島ニ於ケル製鹽ニシテモ餘裕アルヤウニ申シテ居ル、關東州ニ於テモ同様デアリマス、種々ノ方面カラ私ノ研究シマシタコトニ於テ遺憾ナガラ是等他ノ地方ヨリ條件ガ惡イノデアリマス、是等ノコトハ財政調查會委員ノ御一人トシテ澤山材料ヲ御持ニナタテ居ルコトダラウト思ヒマス、尙ホ御説明ヲ願ヒタイ、朝鮮當局ニ於ケレマシテモ之ニ付テ如何ニ御考デアリマス

○政府委員(水野鍊太郎君) 東郷男爵ニ一點御答ヘシマスガ、經濟財政調查會ニ於テドウ云フ風ニ如何ナル問題ガ解決サレルカト云フコトハ私ハ知リマセヌガ、併シ此問題ヲ解決スルニハ餘程十分ノ材料ヲ要シ十分考慮ヲ要シ

ナケレバナラヌカト思ヒマス、財政調査會ニ於テハ此ノ鹽問題ノ如キハドウ云フ解決ニナルカハ承知イタシマセヌガ、併シ今日朝鮮ニ於テハ朝鮮内ニ使用スル鹽ガ非常ニ不足シテ居ルコトハ疾ニ御承知ノコト、思ヒマス、又此天日製鹽モ極メテ有望ナモノデアルコトモ御承知アラウト思ヒマス、果シテ左様デアリマスレバ、是ガ爲メ今日ニ於テ是ガ需要供給ヲ計リ、外國ヨリ輸入シテ居ル額ヲ防止スルコトハ必要ナコトデアッデ一日モ早ク始メテ置クコト宜シクハナイカト思ヒマス、鹽政策ニ付キマシテハ根本方針ガドウ云フ風ニ極マルカ知レマセヌガ、此事ナレバ私ハ將來財政調査會ニ於テ多ク矛盾ヲ生シタイダラウト思ヒマス、ノミナラズ朝鮮ノ狀況ヲ見マシレバ、今日各方面ニ此事業ハ極メテ必要デアリマス、此事ハ何レノ日ニ鹽政策ガ極マルカ知レマセヌガ、一日モ早ク之ヲスルコトハ必要ト考ヘルノデアリマス、殊ニ朝鮮ノ今日ノ事情ハ鹽ノ使用額ノ三分ノ二以上ハ外國ヨリ仰テ云フ有様デスカラ、此點カラシテモ是ハ極メテ有利有望ナモノデアリマス、是ガ計畫ヲ定メテ宜シカラウト考ヘルノデアリマス、又大藏省ニ於キマシテモ、中央政府ニ於テモ此事ニ付テハ同様ニ御認メニナッテ居ル、大藏次官ノ唯今ノ御答辯ハ私モ同一ニ思ッテ居リマス

○男爵東郷安君 朝鮮總督ノ御考トシマシテ唯今ノ御答辯ハ誠ニ御尤モト思ヒマス、併ナガラ朝鮮當局ニ於テ計畫セラレルコトバカリ見テ行ク譯ニハ行カナイ、日本ノ國策トシテ朝鮮バカリ先キニ極メルコトハ出來ナイ、内地ノ政策ニ向テ計畫ヲ立テナクシテハナラヌコトハ明カデアルガ、色々需要供給ノ關係ヲ考ヘテ、此事業ニ御著手ニナラナケレバ、將來困難ヲ生ズルコトガアリハシナイカト思ヒマス、又私ノ申上デマシタコトハ、一面ニ於キマシテ、今回朝鮮ニ關稅撤廢セラレテ内地ト同様ニセラレ、内地ト朝鮮ト同一ノ經濟基礎ニ立ッテ、將來全部ノ生活資料ノ配給其他ヲ圖ラウトスルノデアリマス、私ハ其中ノ朝鮮ノ鹽ト云フコトモ、此見地カラ重要視シテ御尋ネシテ居ル譯デアリマス、ドウゾ其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(荒井賢太郎君) 御諮リヲ致シマスガ、大分時間ガ過ギマシタケレドモ、唯今内務大臣カラ道路公債法ニ付テ一應説明ヲ致シタイト云フコトデゴザイマスガ、如何デゴザイマセウカ……デハ少シ時間ヲ延バシマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 此道路公債法案ニ付テハ先キニ堀田局長カラ大體説明ヲ申上デマシタ譯デアリマスガ、實ハ昨年道路法ヲ制定セラレマシテ、長イ間ノ懸案モ解決セラレタヤウナ次第デアリマス、ソレニ基イテ此ニ改良實施ノ計畫ヲ立テタ次第デアリマス、申上ゲル迄モナク道路改良ノ必要ノ狀態ハ、殊ニ東京アタリデハ御覽ノ通りノ有

様デアリマシテ、單リ是ハ唯交通上バカリデハナク、今日ノ儘ニ差掛キマシテハ、一ツノ社會問題ニモナッテ來ル次第デアリマス、何卒此ニ根本ノ計畫ヲ立テ、置クコトハ無論ノコトデアリマス、ケレドモ、都市ノ路面ノ改良ヲ實施シテ人心ニ及ボス影響等モ緩慢ニ致シタイ考ヘデゴザイマス、内務ノ當局カラ申シマスレバ、實ハ是レ以上尙ホ年限モ縮メテ多クノ仕事ヲ致シタイ考デアリマス、國庫ノ都合上左様ニモ參リ兼ね、ノデ三十年ノ計畫ニ致シタ次第デアリマスガ、實情ニ鑑ミテ何卒御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス、デ或ハ支出ハハザル……三十年ノ此支出計畫ガ伴ハヌニ依ッテドウデアアルカト云フヤウナ御考モアルカハ知リマセヌガ、水道ノ方ニ於キマシテモ計畫ヲ決メテソレヲ補助シテ、以テ都市ノ水道ノ發達ヲ助成イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體ガ伴ハヌニ依ッテドウデアアルカト云フヤウナ御考モアルカハ知リマセヌガ、水道ノ方ニ於キマシテモ計畫ヲ決メテソレヲ補助シテ、以テ都市ノ水道ノ發達ヲ助成イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體カラ申セバ此案モ支出ノ伴ハザルコトハ矢張りソレト同ジヤウナ譯デアリマス、此ニ政府ノ方ニ於テ此考ヲ決メテ、之ニ依ッテ國道ノ方ハ勿論ノコトデゴザイマス、ケレドモ、此府縣ノ都市ノ方ノ計畫モ、此補助ヲ斯クノ如クヤルニ付テハ成ベク計畫ヲ進メルコト云フ方ニヤリマシタガ、實行ガ早ク期セラレ、デアラウカト考ヘルノデドウカ宜シク願ヒタイウゴザイマス

○政府委員(神野勝之助君) 道路費ニ付キマシテ形式ニ付テノ御意見ガアリマシタノデアリマス、公債ノ財源トシテ補助ヲシテ居ルト云フ例モゴザイマセヌ、公債ノ財源トシテ居ルト云フ例ハゴザイマセヌガ、法律ニ依ラズ、又豫算外國庫ノ負擔ナル契約ニ依ラズシテ、年々補助シテ居ルト云フモノハ隨分例ガ澤山ゴザイマス、チヨット讀上ゲテ見マ

スルト、元外國人居留地地方費補助、是ハ地方……地方經濟ニ補助スルノデアリマス、沖繩縣地方費補助、特別巡查費補助、是モ警視廳、府縣ニ對シ年々補助ヲ致シテ居ルノデアリマス、横濱市稅補助、化學研究補助費、海外商品陳列所補助、耕地整理及ビ土地改良獎勵補助、農業倉庫建設補助、副業獎勵費、是ハ皆地方經濟ニ補助スルノデアリマス、樹苗養成費補助ト云フヤウナモノゴザイマス、或ハ重要輸出品検査費補助ト云フヤウナ例ガゴザイマス、ソレデ道路改良スル爲ニ費用ヲ投ズルト云フコトニ付テハ、皆サンハ別ニ御異議ハナイヤウデアリマス、唯其形式ノ御疑問カト考ヘテ居ルノデゴザイマス、大體計畫ヲ決メマシテ三十年ノ間ニ二億八千萬圓程ノ道路費ニ投ズル、ソレニ付テハ其財源ノ公債ニ依ルト云フ權能ヲ此場合ニ於テ御協賛ヲ經テ置キマシレバ、先刻申上デマス通り、ソレ

フ年々其計畫ニ從ッテ支出シテ行クト云フ其歳出ニ付テハ、年々豫算ヲ以テ更ニ帝國議會ノ協賛ヲ經テ執行イタシマスノデアリマス、ケラ、別ニ差支ナイコトデハナイカト信ジテハ居ルノデゴザイマス、尤モ道路委員會其他ノ向ニ調査諮詢等ヲセラレテ、内務省ニ於テ其金額等ヲ確定スルニ至ラバ、或ハ場合ニ依ッテ之ヲ年割額ヲ一定シマシテ、或機會ニ於テ年割額ヲ一定シテ議會ノ協賛ヲ經ルト云フ風ニナルカモ知レマセヌ、今日ノ場合ニ於テ其年割額ヲ此場合ニ決定ヲ致シテ置カクテモ、別ニ違式トカ云フヤウナ意味ハナイヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵池田長康君 私人ノ御尋ネ致シマシタ原因モ此道路ノ改良ト云フコトニ付テ反對スルノデアリマス、實質ノ問題ニ付テ疑問ヲ挾ムノデアリマセヌ、今大藏次官ノ御話ノヤウニ形式ノ問題デアリマス、ソレデ其例ヲ出シテ戴キタイト云フコトヲ申上デマシタノハ、此財源ガ公債ニナッテ居ル例ヲ實ハ御求メマシタ譯デアリマス、尙ソコニ私ハマダ種々疑フ有テ居リマス、ハ、免ニ角支出ノ振合ヒハドウ云フ風ニナッテ出ルカト云フト、是ハ豫算ニナッテ唯政府ノ御計畫ナル、其大體ノ計畫ニ對スルモノハ、此法律案大體ノ計畫ヲ認メルコト云フ御話デアリマスガ、是ハ部分的デナク、道路改良ニ對スル總括的ノ一種ノ豫算ノヤウニ考ヘラレバ、是ハ法律案デアリマスガ、此法律案單獨ニ之ヲ決メレバ、年度ノ豫算デアリマセヌガ、此計畫ニ對シテ一種ノ豫算ト同ジヤウナ總括的ノ豫算ヲ茲ニ決メテ行クヤウナ氣持チガ致シマス、而カモ之ニ對スル先例ガ無イト申シマスレバ、尙ホ私ハ十分考ヘテ見ナケレバナラヌカト考ヘマス、ソレデ今申上ゲタヤウニ道路其モノヲ改良シテ行クコトデハアリマセヌ、豫算ト法律案トノ關係ニ付テ色々疑問ヲ生ズル、又是ハ議員生活トシテ重要ナルモノデアアルカラ、是ハ尙ホ考慮シテ行キタイト存ジマス

○政府委員(神野勝之助君) 御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスガ、豫算トハ別ノ關係ト言ヒマスガ、二億八千萬圓ノ募債ノ權能ヲ此法案デ與ヘラルルノガ此法案ノ趣意デアリマシテ、二億八千萬圓ト云フモノハ如何ナル計算ノ基礎ニ依ッテ出タカト云フ、斯ウ云フ御問ヒデアリマスレバ、即チ斯ウ云フ計畫ニ依ルガ即チ豫算ニ協賛スルト云フヤウナ氣ガスルト云フ御話デアリマスガ、サウ云フ御感ジガスルカモ知レマセヌガ、此年割ノ豫算ハ直グ協賛ヲ得ル意味ニハナラヌノデアリマス、此計畫ニ從ッテ年々此通りニ歳出ヲ計上スルコトカ、場合ニ依ッテハ多少此數字ト違タ歳出ヲ計上スルカラ、其年々ノ歳出ニ依ッテ御協賛ヲ經テ行ケバ差支ナイト考ヘテ居リマス、ドウカサウ云フ意味ニ於テ宜シク御考慮ヲ願

ヒタイト思ヒマス
○委員長(荒井賢太郎君) 最早御質問モ濟ンダヤウデア
リマス、ソレデハ一應質問ハ濟ミマシタモノト致シマシテ、又
討議ノトキ更ニ殘ッタ質問ハ願フコトニ致シマス、今日ハ是
デ閉會イタシマス

午後四時四十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 荒井 賢太郎君
副委員長 小山 健三君
委員 子爵榎本 武憲君
男爵東郷 安君
男爵池田 長康君
仁尾 惟茂君

國務大臣

大藏大臣 男爵高橋 是清君
內務大臣 床次 竹二郎君

政府委員

朝鮮總督府政務總監 水野 鍊太郎君
朝鮮總督府內務局長 大塚 常三郎君
兼朝鮮總督府參事官
朝鮮總督府事務官 水口 隆三君
樺太廳長官 永井 金次郎君
樺太廳事務官 石坂 豐一君
內務省土木局長 堀田 貢君
大藏省大藏次官 神野 勝之助君
大藏省理財局長 森 俊六郎君
遞信省遞信次官 泰 豐助君
遞信省通信局長 米田 奈良吉君

大正九年八月十八日印刷

大正九年八月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局